

## 正保武蔵国絵図の基礎的考察（一）——近世初期上武地域における国境認識をめぐって——

青木 裕美

### はじめに

江戸幕府は、度々全国的な国絵図調製事業を実施した<sup>(1)</sup>。これは、中央政権として江戸幕府の体制を確立するために、諸国の広狭や生産力の実態を把握する一種の国土基本図が必要となつたためとされる<sup>(2)</sup>。寛永国絵図のように、幕府が巡見使を派遣し国絵図を作成する場合もあったが、慶長・正保・元禄・天保の四度に渡つては、幕府が統一の凡例を定め、基本的に国持ち大名に国絵図の調製を命じた。相持ちの場合には絵図元（絵図調進担当者）となる大名・代官が任命された。国絵図は郡別・村別の石高を記した郷帳と一組で作成され、幕府に献上された<sup>(3)</sup>。本稿で取り上げるのは、後者の国絵図である。

武蔵国の場合、清図（献上図）が現存するのは天保武蔵国絵図のみであり<sup>(4)</sup>、その他に武蔵国絵図の写図が複数確認されている<sup>(5)</sup>。武蔵国絵図については、『国絵図の世界』（国絵図研究会編、白井哲哉氏執筆分）に武蔵国絵図全般の記載はあるものの、専論となる先行研究は、管見の限り、白井哲哉氏「江戸幕府が作った最古の武蔵国絵図——埼玉県立浦和図書館蔵『武蔵一国之図』の意義を考える——」<sup>(6)</sup>と重田正夫氏「武蔵国における天保国絵図の調査過程」<sup>(7)</sup>の論考二本のみである。白井氏は、

巡見使によつて寛永年間（一六二四—一六四四）に作製された「日本六拾余州国々切絵図」を正徳年間（一七一一—一七一六）に写したとされる「武蔵一国之図」（埼玉県立熊谷図書館蔵）の検討を行った。一方、重田氏は、天保武蔵国絵図の調査とその特色を、在地の史料から明らかにした。つまり、江戸幕府撰武蔵国絵図そのものについては、個別の研究が進んでいないのが現状である。埼玉県立文書館（以下、当館とする）収蔵の「武蔵国絵図」（堀口家文書一六九九）は、その石高記載から正保武蔵国絵図の写図とされてきたが、記載内容の詳細な検討には至っていない。

近年、資料の高精細デジタル化が進み、取り扱いが困難であつた大型の絵図資料の研究が大きく進んだ。それに伴い国絵図研究も進展し、着実な成果が積み重ねられてきた。さらに、絵図をたまたま見出された絵図のみで研究するのみでなく、下図ならばどの段階の絵図か、写図ならば原本はいつ作成されたか、また写図類には写し取った人間の空間認識は反映されており、どのような目的で写図を作る必要があつたかなど、重要な研究課題が指摘されている<sup>(8)</sup>。本稿では、こうした先行研究を踏まえ、特に正保武蔵国絵図の写図における記載内容の基礎的な検討を行うこととしたい。

また、杉本史子氏は国絵図による空間把握の政治的意味（領域支配）に着目している<sup>(9)</sup>。筆者はかつて上野国絵図の検討を行ったことがある<sup>(10)</sup>。明暦の大火による正保上野国絵図の焼失をうけて調製された寛文上野国絵図（前橋市立図書館所蔵）の記載内容を検討するなかで、上武国境山間地域において正保武蔵国絵図（国立公文書館所蔵「日本分国図」武蔵国）<sup>(11)</sup>と寛文上野国絵図の国境線が一致しないことを確認した。つまり、前者が山々の峰を国境とする峯切、後者は神流川を国境とする川切として国境線を描き、両絵図上ではどちらの国にも属さない空白地域が存在することを述べた。これに対して、佐藤孝之氏は寛永上野国絵図（岡山大学附属図書館池田文庫所蔵「日本六拾余州国々切絵図」写図）との比較から「寛永国絵図の時点では神流川が国境とされ、寛文国絵図の時点では神流川右岸地域は空白地域となっており、さらに元禄国絵図において峯切の国境が確定したという流れが描けるが、川切から峯切へと国境が遷移した過程で、一時的にはあれ空白地帯が生じたとすれば、そこにどのような事情があったのか」と述べられ、「寛文上野国絵図と比較した武蔵国絵図が正保国絵図であるという点も含め、さらなる追求が必要であろう」との指摘を頂いた<sup>(12)</sup>。これを受け、本稿では国立公文書館所蔵「日本分国図」武蔵をはじめとする、正保武蔵国絵図写図の記載内容の検討を行い、これを踏まえた上で、近世初期の上武国境地域の在り方、国境認識について言及していきたい。

なお、紙幅の都合上、本稿は本号と次号と分けて掲載する。本号では、正保武蔵国絵図の記載内容の基礎的考察を行い、次号における当館所蔵武蔵国絵図の検討及び近世初頭における国境認識に係る検討の素地としたい。

## 一、正保武蔵国絵図の記載内容について

### （1）正保武蔵国絵図・郷帳の調製

本章では、正保武蔵国絵図と郷帳について検討を加えたい。正保国絵図調製事業については、川村博忠氏の研究に詳しい<sup>(13)</sup>。正保元年（一六四四）十二月二日、將軍徳川家光より大目付井上政重・宮城和甫に国絵図の収納が命じられたという<sup>(14)</sup>。これを受け、井上・宮城両名は諸大名の江戸留守居を幕府評定所に集めて、調製を命じた。「大猷院殿治世略記」十二月二十五日条<sup>(15)</sup>には「日本国郡之図、同諸城之絵図可調進旨、有　上意、径年数出来、（中略）悉皆井上筑後守・宮城越前守奉行之」とある。

幕府御書物奉行であった近藤重蔵（守重、正斎、一七七一一八二九）の著書「好書故事」は、「正保三年絵図目録」として次のような条目を載せる。正保三年とするが、他の一次史料によると正保元年の誤記である可能性が高い。

#### 【史料1】「好書故事　三」<sup>(16)</sup>

- 一、郷村知行高別紙帳二作り式通可上ル事
- 一、絵図・帳共二村々付候はへ山并芝山有之所書付候事<sup>(17)</sup>
- 一、郷村不落様二念入絵図・帳二可書付事
- 一、水損・早損之郷村帳二書付候事
- 一、道之法六寸ヲ一里ニいたし、絵図二一里山を書付、一里山之所より三十六町ニあい<sup>(18)</sup>を相定、絵図二壱里山書付候事
- 一、本道冬牛馬の往還不成処、絵図二書付事

- 一、本道ハ元本之へす、大脇道小朱ニて可致事
- 一、川口絵図ニ書付候事<sup>(16)</sup>
- 一、名ある山・坂絵図ニ書付候事
- 一、壱里山と郷あひ道之法絵図ニ付候事
- 一、船坂陸渡わたりの広サ絵図ニ書付候事
- 一、山中難所道のり絵図ニ書付候事
- 一、国境道法壱里山他国ニ有之壱里山に何ほと、書付候事

まず、国絵図と郷帳が二部ずつ作られ幕府に提出すべきことが命じられた（一条目）。国絵図・郷帳はセットで幕府の勘定所と御文庫（紅葉山文庫）に納められた。国絵図は、絵図上の六寸を実際の一里として絵図に一里山（一里塚）を書き、一里を三十六町とした（五条目）。一里山と郷の間の距離や国境から一里山までの距離も絵図に書き付けた（十条目・十三条目）。道は本道及び大脇道も朱で示した（七条目）。国絵図及び郷帳に村が所有する生山・芝山を書き（二条目）、国絵図には冬に牛馬の往還が不可能な本道にはその旨を（六条目）、河口や名のある山・坂、渡しの広さ、山中の難所を記し（八条目・九条目・十二条目）、郷帳において水損・旱損の村には注記を加えた（四条目）。さらに、川村氏が提示した佐賀藩の「多久家有之候御書類之写」にはよると、絵図と郷帳は郡分けとし郡毎に石高を記載すること、絵図・郷帳ともに郡名・郷名の難字は朱字で仮名をふること、郷帳の巻末には一國文の石高を記載すること、川の名を記載すること等の指示もあったという。また、川村氏は、所領区別を必要とする、つまり相持ちの国絵図においては、①村形内のいろは符号の記入、もしくは②村形縁の色分け（二重輪）が行

われていたことを指摘し、多くの場合は①の方法によったとしている。実際、筆者がかつて検討を行った寛文上野国絵図は、正保国絵図の図示方法を継承したもので、俵形で描かれた村形には村名・石高の他に領主をいろはで示し、凡例としているのはと領主の相対表が記されていた。

正保武蔵国絵図は、川越藩主松平信綱、忍藩主阿部忠秋、岩槻藩主阿部重次といった武蔵国内の大名に、関東郡代伊奈忠治を加え、調製が命じられた<sup>(17)</sup>。しかし、慶安元年（一六四八）十二月十日には、武蔵・上総両国絵図の調製を飯河彦左衛門方好・小田切新右衛門昌快・雨宮権左衛門正種・遠山与三右衛門為庸が命じられ、翌二年五月十五日にも同人らに「武総両州を巡察し地図をつくるべし」としていることから<sup>(18)</sup>、実務は彼ら大番士が担った可能性がある<sup>(19)</sup>。

江戸幕府が調製させた武蔵国絵図の清図は、現在、天保武蔵国絵図が伝存するのみで、正保武蔵国絵図は失われている。前述の「武蔵国絵図」（堀口家文書）をはじめ、「武蔵国全図」（小室家文書四六二四）<sup>(20)</sup>、「武蔵国絵図」（国文学研究資料館所蔵）<sup>(21)</sup>なども、その石高記載から正保武蔵国絵図の写と推定される。なお、正保武蔵国絵図とともに提出された郷帳も現存しないが、正保武蔵郷帳の素案とされる「武蔵田園簿」（以下、田園簿と略す）の写本が残っていることから、郷帳に近い石高の値については知ることができる。これらの絵図は、この記載をもつて正保武蔵国絵図の写と比定されたのである。田園簿は、林巖氏の研究により、慶安二年から三年にかけて作成されたものとされている<sup>(22)</sup>。大番士飯河等への絵図調進の命令時期等を踏まえると、少なくとも正保武蔵国絵図（清図）の提出は、実際には慶安二年以降となつたと考えるのが妥当であろう。仙台藩が編纂した史書「伊達治家記録」<sup>(23)</sup>には「尤

モ半年一年ニハ出来シ難カルヘシ、一兩年ヲ越テモ不苦ノ旨、仰渡サル」とあるので、絵図の調進について迅速さを求めるよりも、基準に合わせて正確な絵図を調製することに重きを置いたといえる。

## (2) 紅葉山文庫における正保武蔵国絵図・郷帳の管理

正保武蔵国絵図については、写とされる絵図が複数残されるが、この主な検証は正保武蔵郷帳の素案とされる田園簿の石高記載によるものであることは、前に述べた通りである。江戸幕府に提出された正保武蔵絵図と郷帳は、勘定所・紅葉山文庫に保管された双方とも、既に失われているのである。前出の「好書故事」によると、紅葉山文庫には「古国絵図」と「新国絵図」が保管されており、前者は正保国絵図、後者は元禄国絵図の呼称であった。古・新国絵図ともに郷帳が付属していた。正保国絵図は、近藤守重が書物奉行を務めていた文化・文政年間（一八〇四—一八三〇）には七十五枚が伝存していたという。郷帳には村高の他に領主名が記載されていた。では、正保武蔵国絵図及び郷帳は、いつ頃まで確認できるであろうか。御文庫、つまり紅葉山文庫における正保国絵図及び郷帳の管理についてみていきたい。

紅葉山文庫は、周知の通り、江戸幕府が將軍のために江戸城内に設けた図書館である。慶応二年（一八六六）に廃止されるまで二六五年間存続した。現在は国立公文書館の内閣文庫にその蔵書が引き継がれている。江戸幕府の蔵書管理や実態を知ることができる史料として、紅葉山文庫を所轄した書物方による業務日誌「御書物方日記」がある。これは、「御書物形留牒」と題された十六冊（宝永三年（一七〇六）—享保十八年（一七二五）<sup>(24)</sup>と、「御書物方日記」（宝永三年—安政四年）二〇九

冊<sup>(25)</sup>から成り、一部を欠くもののその記載は一五二年分に及ぶ<sup>(26)</sup>。当直の書物奉行が翌日の担当に申し送るための業務日誌として日常業務の内容が記されたとともに、蔵書出納の確認簿としての役割を担っていた。

「御書物形留牒」（以下、留牒と略す）における正保国絵図の初見は、管見の限り正徳三年（一七一三）八月二十二日条であり、「古国絵図皆々出し、干候」と見える。蔵書への風干（風通、虫干）は毎年六月から八月にかけて行われている。一年中で最も高温多湿な梅雨が終わり、蔵書が十分に吸収した湿気を放散するためと、幼虫の発育期にあたり駆除が行いやすい土用の頃に風干を実施したという<sup>(27)</sup>。実施時期は、毎年一定というわけではない。天候に左右され、雨が上がった後の湿気が多い日等は風干を行わずに延引することも多かった。国絵図は、通常は木箱に入れられ、正徳元年に新築された西御蔵内の長持に保管されていた。しかしながら、正保国絵図の調製に関わる情報は共有されていなかったようである。

### 【史料2】「御書物方留牒」享保二年十月二十七日条

「武蔵国古絵図 一箱<sup>(28)</sup>」

右、御用之段、昨夜加納遠江守殿より申来、今朝差上之、於新部屋、遠江守殿御請取之、且又、此古絵図ハ、いつ比より御蔵ニ有之、いつ比出来候哉との御尋ニ付、其段申伝も無御座、留書も無御座、相知不申候段、申上之候、

【史料2】は、享保二年（一七一七）十月に「武蔵国古絵図」（正保武



蔵国絵図）を將軍吉宗の閲覧に供するため、御側御用取次であつた加納久通に絵図を提出した時のやり取りを記したものである。この時、書物方の松田金兵衛は、久通から古絵図の收藏及び調製時期を尋ねられ、「其段伝も無御座、留書も無御座、相知不申候」と返答している。つまり、正保国絵図に関わるこれらの記録は残っていないのであつたのである。また、翌三年正月二日には有馬氏倫から「古国絵図之内、領主方上り候名書印在之哉、又ハ、年号月日杯書付候而有之哉」と、正保国絵図の内で絵図元となつた領主の署名押印や調製年月日の記載の有無を尋ねられ、御文庫の正保国絵図を全て吟味し、報告書を提出するよう命じられている。正保国絵図の調製について「伝も」「留書も」ないと返答したことを受けてか、伝存する国絵図の記載から情報の収集を行ったといえる。一方の正保郷帳についても、享保八年十月に勘定方との次のようなやり取りが見える。

【史料3】「御書物方留牒」享保八年十月十三日条

一、昨日夜に入、肥前守殿より御切昏被遣、今朝五時罷出候様ニ被仰下候ニ付、罷出、懸御目候処、先達而上リ在之候遠江国郷帳御用ニ候、右郷帳ハ在之哉いかゝと、肥前守殿被仰候故、遠江国郷帳者先規より無御座候、此外駿州・相州・武州〇五畿内ニも無之、郷帳無之國々三十ヶ国余ニ而候、郷帳相添候國も三十二・三ヶ國にて候、郷帳の添候ハ、古絵図ノ箱上書ニ郷帳と申義書付候、郷帳無之ハ、其儀無之、何ノ国絵図と計書記候、勿論新絵図ニハ不殘郷帳相添有之旨、申上候ヘハ、前々より目録にても在之哉と御尋被成候故、な

るほと前役之者いたし置候控目録在之候、郷帳有無之儀相違無御座候由、委細申上候ヘハ、御聞届、奥へ御越、暫在之、最早退出候様ニ、宗悦を以被仰越候、御蔵へ罷越、控など一覽申候処、相違も無御座候、内、近江ノ箱へ加賀の郷帳入在之候、追而吟味可申候、

これ以前に提出されていた遠江国の正保郷帳について、御側衆の戸田正峯から「郷帳ハ在之哉いかゝ」と問い合わせがあつた。書物方の浅井半右衛門は正保遠江国郷帳が收藏されていない旨を伝え、他の国の郷帳についても言及している。遠江国の他、駿河・相模・武蔵と五畿内（大和・山城・河内・和泉・摂津）の郷帳もないのである。郷帳がない國が三十ヶ国余、郷帳が残る國が三十二・三ヶ國と浅井は答えており、全國六十八ヶ國と考えても、そのほぼ半分が失われていたことになる。國保管されている正保国絵図に郷帳が附属している場合は、国絵図の箱上書きに「郷帳」と記し、郷帳がない場合はその有無は記載せずに「〇〇国絵図」とのみ記してあつたという。【史料3】の記述から、紅葉山文庫に納められていた正保郷帳のうち、享保八年段階で既に失われていた「郷帳無之國々三十ヶ国余」に武蔵國が含まれていたことがわかる。なお、この段階では元禄郷帳はすべての國の分が揃つていた。

留牒における正保武蔵国絵図の初見は、【史料2】の四か月前、享保二年六月二十八日条である。この二日前、書物方の牛井五右衛門は前述の加納久通から、「新国絵図」（元禄国絵図）と古国絵図（正保国絵図）を引き合わせ、付札を行うように命じられた。これを受け、二十八日に山城国絵図・大和国絵図について新絵図と古絵図各二箱を改め、「相違之分」に張紙を施し、加納へ提出している。これら絵図四箱はともに一

端「御下ケ」になられ、新絵図二箱は無用であるとのこと、古絵図のみ二箱を「差上」るように命じられた。將軍の閲覧を目的とする御側取次への提出は「差上」「上ル」等と表現し、文庫に戻されることを「下ル」と記載する。山城・大和両国の国絵図が吟味された同日、武蔵国絵図も同様に改められた。

【史料4】「御書物方留牒」享保二年（一七一七）六月二十八日条

八月十九日下ル、

一、武蔵国絵図 一箱 郷帳二冊

下総

右差上候様ニ、近江守殿被仰渡候ニ付、一所致持参、差上申候、

八月十九日下ル、

一、武蔵国古絵図 一箱 一、下総国古絵図 一箱

右差上候様ニ、近江守殿被仰渡、御退出ニ付、有馬兵庫頭殿ニ上之、

正保武蔵国絵図については、この時、加納が既に退出していたので、同じく御側御用取次であった有馬氏倫に提出している。留牒の記述を見ると、合点と「下ル」つまり返却された月日が絵図名の横に付されている。これは、後の返却された際に記載と照合したものと思われる。このように留牒もしくは「御書物方日記」によって、書物方は蔵書出納の確認を行ったわけであるが、この段階では武蔵国絵図（元禄武蔵国絵図）には郷帳二冊が付属されている。一方、古絵図にはこの記載がない。享保三年十一月十五日、武蔵国古絵図が再度提出された際の記述には「古図 一武蔵国絵図 郷帳無之」とあり、正保武蔵国郷帳は十八世紀初頭

には既に失われていたことがわかる。

### （3）元禄武蔵国郷帳の検討

正保武蔵国絵図の記載内容について「武蔵田園簿」の外に客観的に検証する資料はないだろうか。

まず、「新編武蔵風土記稿」に掲載された「正保年中改訂図」がある。

「新編武蔵風土記稿」は、享和三年（一八〇三）に開始された江戸幕府の地誌編纂事業の一環として作製された武蔵国の地誌である。文化十三年（天保元年、一八三〇）に完成したとされる、將軍への献上用の浄書本が国立公文書館に収蔵されている<sup>(28)</sup>。本書には、国絵図を基に描かれたと考えられる、正保及び元禄度の郡図が収録されている。しかしながら、郡高については記載がない郡がほとんどであり、俵形で示した村についても省略されている部分が多々見える。

次に、正保度の次に調製された元禄武蔵国郷帳に注目したい。元禄郷帳は、元禄十三年（一七〇〇）から同十五年にかけて調製された。正保は失われたが、国立公文書館には近世後期の写とされる十七ヶ国十九冊の郷帳が所蔵されている。この元禄郷帳の写本については、大塚英明氏の研究がある<sup>(29)</sup>。写本十九冊の法量は一致せず、本文の行数も差異が見られる。このなかに元禄武蔵国郷帳（以下、元禄郷帳と略す）二冊が含まれる<sup>(30)</sup>。この元禄郷帳には、大塚氏が「武蔵国の文中には石高、及び村名上に朱点を附し、村名横には正保時との村名の比較を朱書し、上欄外には所々朱注記がみえ」と指摘した通り、多くの朱書が加えられている。

【写真1】は足立郡の記載の一部である。朱書の内容について見てい

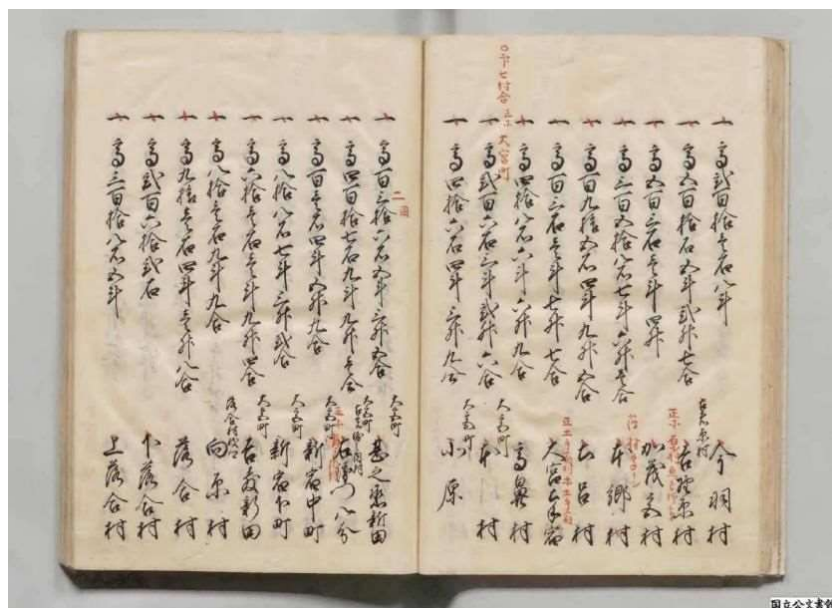
きたい。まず、右頁二行目の「吉野原村」の注記として「正ホ原村、無吉野二字」と朱書が見える。「正ホ」と照合した際の記載である。「正ホ」では「吉野原村」は「原村」と記載され、「吉野」の「二字」はなかったというのである。では「正ホ」とは何を示すのか。

四行目の「本郷村」では「村」の字に合点が付された上で、「簿村字ナシ」と記載されている。つまり「正ホ」の「ホ」は「簿」の字を当てる可能性が高い。元禄郷帳を通じて「正簿」の記載が九一か所存在し、「正ホ」（八〇か所）の記載とは重複しない。つまり両者は同一のものを示すと考えられるのである。また、同六行目の「大宮土手宿」の注記では「正土手宿村、ホ土手宿」と見える。「大宮土手宿」は「正」では「土手宿村」と記され、「ホ」では「土手宿」と記されていたことが知れる。つまり、「正ホ（簿）」の「正」と「ホ（簿）」は別の資料であることがわかる。

そこで考えられるのは、「ホ（簿）」が正保武蔵郷帳（以下、正保郷帳と略す）の案とされる田園簿を指し示す可能性である。では、「正」は何か。正保郷帳が十八世紀初頭には既に失われていたことを鑑みると、正保武蔵国絵図（以下、正保図と略す）の記載との照合である可能性が高い。つまり、「正」とは正保図の「正」と考えられるのである。仮に正保郷帳（もしくはその写本）が存在し、「正」がそれとの照合であったとするならば、別に取って田園簿と照合する必要は生じない。また、元禄郷帳の朱書のうち、高麗郡広瀬村の記載に「正図——村アリ、簿二ナシ」とある。このことから「正」は「正図」、つまり正保国絵図に該当すると考えられる。元禄郷帳には、正保図及び田園簿との照合結果が、朱書で残されたのである。

さらに、注記について検討を進めたい。【写真1】の左頁二行目の「右衛門分」には「大宮町、古者堀之内村」と墨書で頭注され、さらに「正ホ堀之内村」の朱書が付されている。両者は区別されていることは明らかである。地の文と同様に墨書で記された注記は、元禄郷帳本来のものと考えられる。元禄郷帳の「古者堀之内村」との墨書の記載に、正保図及び田園簿を照合する形で朱書が施されたと考えられるのである。

さらに、左頁一行目の「大宮町 甚之丞新田」の記載には、村高の「高百三拾六石五斗三升五合」の「百三拾六石」の「三」の部分に「二 図」と朱書されている。「図」と照合して「一三六石であるということを示し



【写真1】「元禄武蔵国郷帳」足立郡（国立公文書館所蔵）  
国立公文書館デジタルアーカイブズより掲載

ている。ここで言う「図」は何か。

元禄郷帳の朱書には、「元図」という記載が十八か所確認できる。また、久良岐郡戸部村の頁上部への記載には、「元録<sup>(録)</sup>戸部村ノ内野毛村アリ」とある。「図」＝「元図」＝元禄武蔵国絵図と考えられるのである。なお、豊嶋郡一ツ木村の項目には「二図簿并町作村、今上下作村」と見える。つまり、元禄郷帳の朱書は、二鋪の武蔵国絵図（正保図、元禄武蔵国絵図）と一冊の簿冊（田園簿）を照合した結果を記したものと考察できる。

元禄郷帳における村高及び村名の上には合点が施されている。石高の部分については元禄国絵図との照合、村名の合点については正保図及び田園簿との照合の際のものと考えられる。

文末に掲載した【別表】は、元禄郷帳と田園簿の比較を含む、「正保武蔵国絵図関係資料村高対照表」である。表中央及び右に田園簿及び元禄郷帳を示し、元禄郷帳の朱字注記を「元禄武蔵国郷帳」の「注記等」欄に記載した。田園簿の記載を元禄郷帳の朱書と比較して記載が異なる場合は、田園簿の該当記載を斜体で表した。表記が異なる箇所は数か所に留まることから誤写の範囲と言えよう。この朱書のみでは、村高記載の比較はできないが、田園簿及び正保国絵図の村名を確認するための客観的な資料となろう。

#### (4) 小括

○正保図調製における清図の提出は、慶安二年（一六四九）以降である。

○十八世紀初頭の段階で、正保図の調製に関わる記録は伝存しておら

ず、全国ほぼ半分の国絵図が既に失われていた。正保郷帳もこれに含まれる。

○元禄郷帳の朱字は、正保図及び元禄図、田園簿との照合の結果を注記したものである。この注記から、田園簿及び正保図の村名記載を【別表】のように復元できる。

## 二、中川忠英旧蔵武蔵国絵図

### (1) 中川忠英旧蔵武蔵国絵図について

数ある正保図の写とされる絵図のなかでも、最も幕府に提出された清図に近いと考えられるのが、幕臣中川忠英（一七五三—一八三〇）旧蔵の「日本分国図」六一鋪に含まれる武蔵国絵図であろう<sup>(31)</sup>（以下、中川忠英旧蔵図とする）。福井保氏の紹介<sup>(32)</sup>以来、正保武蔵国絵図の写図と考えられてきた。中川忠英は、小普請組支配組頭を経て、寛政の改革においては目付として幕臣の綱紀肅正に努め、長崎奉行を経て、寛政九年（一七九七）には勘定奉行及び関東郡代となった人物である。大目付に任じられた後、文化四年（一八〇七）蝦夷地へ派遣された。留守居を経て、旗奉行在任中の文政十三年（一八三〇）九月に没している。「日本分国図」の一群は、この忠英が幕府に保管されていた絵図を模写したものと考えられている。忠英は、目付在任中の寛政四年（一七九二）から七年に右筆所日記や元禄年間の幕府日記など多くの蔵書を紅葉山文庫から借り受けているが、その中に国絵図は含まれない。勘定奉行や大目付といった幕府要職にあった際に勘定所蔵の絵図類を書写したのではないかと推察される。

【表1】は、中川忠英旧蔵図と田園簿、さらには元禄郷帳の各郡の村

【表2】正保国絵図の様式・記載内容との比較

		正保国絵図の様式	中川忠英旧蔵武蔵国絵図
村形の記載	村形	俵形	○ 俵形
	郡別色分	有	○ 有
	領主区別	いろは付又は二重輪	× 無
	村高記載	石余又は石でとめ (斗以下は省略)	× 無、村名のみ
絵図上の記載	郡枠	無	○ 無
	郡名	郡名	○ 有
	郡高	郡高	○ 有
	村数	村数	○ 有
晶紙の高頭目録	目録	有	○ 有
	目録名	不統一	— 「武蔵国絵図」
	記載事項	郡別色分有	× 無
		郡名	○ 有
		郡高（村数）	○ 有
		一国惣高	○ 有
		所領いろは付又は二重輪	× 無
		領主名	× 無
		所領惣高	× 無
境界線	郡境	黒色線	○ 黒色線
	国境	無	○ 無
	領境	無	○ 無
交通	道筋	朱線	○ 朱線
	本道と脇道の区別有	○ 有	○ 有
	一里山	有	○ 有
	小書き	歩渡・舟渡の別	○ 有
海上の記載	航路と道法	川幅・難所の記載が詳細	○ 有
	小書き	有 朱線	○ 有
	小書き	風向・水深等船掛りの良し悪しやはへ(暗礁)の記載など詳細	○ 塩干・遠浅などの記載有
描写	城郭	惣構の方郭のみ、中に城名を記載	○ 惣構の方郭に城名を記載
	描写・色調	群青色	○ 淡青色
その他	山の記載	はへ山・芝山・鷹巣山などの山の種類を記す	○ 巣鷹山の記載有
	縮尺	一里六寸に統一、絵図上の一里山間の長さは18cm ※天保武蔵国絵図の原本は、南北512×東西537cm	× 南北289cm×東西383cm
	他国記載	「備後国」・「石見国」など統一	○ 有
		国別の色分有	○

数・村高の記載を比較したものである。一部、田園簿に記載されていないが、村数・村高は、中川忠英旧蔵図と田園簿の数値が一致する。しかしながら、写図であることもあり、本来の正保国絵図が持つべき特徴が失われている部分もある。

では、第一章で元禄郷帳から抽出した「正（正保図）」朱書注記とは一致するであろうか。前述した【別表】には、左の欄に中川忠英旧蔵図の記載内容も示した。元禄郷帳の「正」の朱書と比較し、村名記載が一致しない部分を斜体としたが、写図であることから誤字も多く、判読できない文字や村形のみで村名の記載がないもの、村形の描写のない村も

あった。しかし、正保図に描かれたであろう二、四一四ヶ村からすればこれも誤差の範囲といえよう。つまり、中川忠英旧蔵図は、正保図の写図であると考えられるのである。この図が、次章で他の写図を検討する上での指標となる。

【表2】は正保国絵図の様式・記載内容と比較したものである。彩色については、清図と写図では顔料が大きく異なる。また、

【表1】記載石高対照表

郡名	中川忠英旧蔵武蔵国絵図		武蔵田園簿	
	村数	郡高	村数	郡高
豊嶋郡	91	28,972石7斗8升4合9勺	91	28,972石7斗8升4合9勺
荏原郡	79	21,818石5斗5合	79	21,818石5斗5合8勺
橋樹郡	113	44,555石9斗8升6合9勺4才 ※1	113	44,555石9斗8升7合
久良岐郡	43	13,949石8斗3升3合	43	13,949石8斗3升3合
都筑郡	62	21,005石6斗9升7合8勺8才	62	21,005石6斗9升7合8勺8才
多摩郡	320	73,782石9斗8升6合	320	73,782石9斗8升6合9勺
新座郡	18	7,683石5斗5升5合	18	7,683石5斗5升5合
入間郡	185	61,754石4斗1升1合	185	61,754石4斗1升1合
高麗郡	84	19,937石7斗3升4合	84	19,937石7斗3升4合
秩父郡	73	24,662石4斗8升5合	73	24,662石4斗8升5合
男衾郡	24	7,039石9斗9升4合6才	24	7,039石9斗9升4合6才
大里郡	39	20,950石5斗6升7合	39	20,950石5斗6升7合
比企郡	130	47,211石4斗8升	130	47,211石4斗8升
横見郡	25	10,683石2斗5升4合	25	10,683石2斗5升4合
足立郡	361	130,252石6斗8升7合8勺	—	130,252石6斗8升7合6勺
葛飾郡	191	133,689石4斗8升7合	192	133,689石4斗8升7合
埼玉郡	363	236,434石5斗8升3合3勺	363	236,434石5斗8升3合3勺
幡羅郡	53	36,772石2斗1升7合8石	53	36,772石2斗1升7合8石
榛沢郡	69	27,481石5斗8升4合6勺8才	69	27,481石5斗8升4合6勺8才
那賀郡	10	5,565石1斗9升5合	10	5,565石1斗9升5合
児玉郡	59	26,471石7升6合5勺3才	59	26,471石7升6合5勺3才
賀美郡	22	11,661石8斗6升1合	22	11,661石8斗6升1合
合計	—	982,337石9斗6升5合8勺	—	—

※1 晶紙の記載は44,595石9斗7合 村数43ヶ村

絵図上では一里を六寸（十八 cm）として表現するため、縮尺は二万二、六〇〇分の一、つまり、天保武蔵国絵図（清図）<sup>33</sup>の法量である南北五一二 cm×東西五三七 cmと近値になるはずである。しかし、中川忠英旧蔵図は縮図であるため、南北二八九 cm×東西三八三 cmである。よって、これらの比較は成立しない。これらを外し、正保国絵図の特徴となる記載内容を鑑みると、村高や領主の区別に関わる記載が挙げられる。

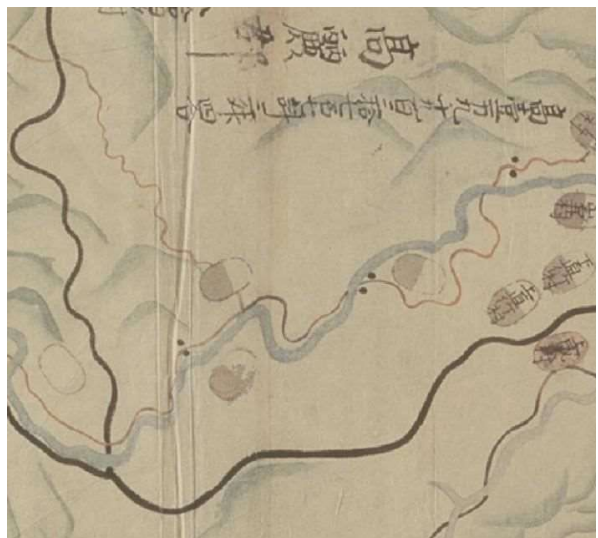
畠紙部分には、「武蔵国絵図」との目録名が記されているが、天保武蔵国絵図のように区画された枠はない。郡名、郡高及び村数、一国惣高の記載はあるものの、郡別色分けの凡例は附われていない。また、正保国絵図の特徴の一つとされる「所領いろは付」や領主名、領主別の所領惣高の記載は見られない。中川忠英旧蔵「日本分国図」に含まれる、他の正保国絵図の写図にも言えることであるが、領主に関わる記載が、大部分の中川忠英による写図から失われている。これは、元禄国絵図の作製に至って領主の記載がなくなったことと同様の意識が、中川が絵図を写す際にも存在したのではなからうか。つまり、領主の所領や知行高の把握が、国絵図調製の目的ではなくなつたと考えられるのである。

## （2）中川忠英旧蔵武蔵国絵図の記載内容

国絵図の様式において、村は俵形で示され、郡ごとに色分けされる。中川忠英旧蔵図もこれに倣うが、正保国絵図において本来あわせて記されるべき村高及び領主区別のための「いろは」がない点も特筆すべきことである。これも畠紙の領主記載同様に省略されたものと思われる。さらに、【写真2】のように、村形の記載はあるものの村名が記載されていないものや、あるべき位置に村形の姿がないものもある。これは、書

写する段階での写し忘れと考えられる。町についても、国絵図の様式に倣い長方形で示されるが、町高や領主区分の「いろは」は記されていない。

絵図の作成基準に「一、本道ハ元本之へす、大脇道小朱にて可致事」とある通り、道筋の主道と脇道は太さを変えて朱線で表現されている。「一里山ヨリ〇〇迄〇町」「是ヨリ〇里塚迄〇町」といったように、「…」で示された「一里山」からの距離が要所ごとに記されている。これも、作成基準の「一、沓里山と郷あひ道之法絵図ニ付候事」に該当するものである。また、馬次を行う街道筋の町村には「馬次」の表記がなされている。さらに、武蔵国は江戸湾を擁するため、航路の記載もあり、街道と同様に朱線で示されている。浅草川河口付近から南下した航路は、神奈川町浦、須崎・六浦、三浦半島沖に向かう三路に分岐する。航路の距離表記については、神奈川町浦へ向かう航路にのみ確認でき、航路上の本郷浦、横浜浦、神奈川町浦から江戸までの海上での距離がそれぞれ記載されている。



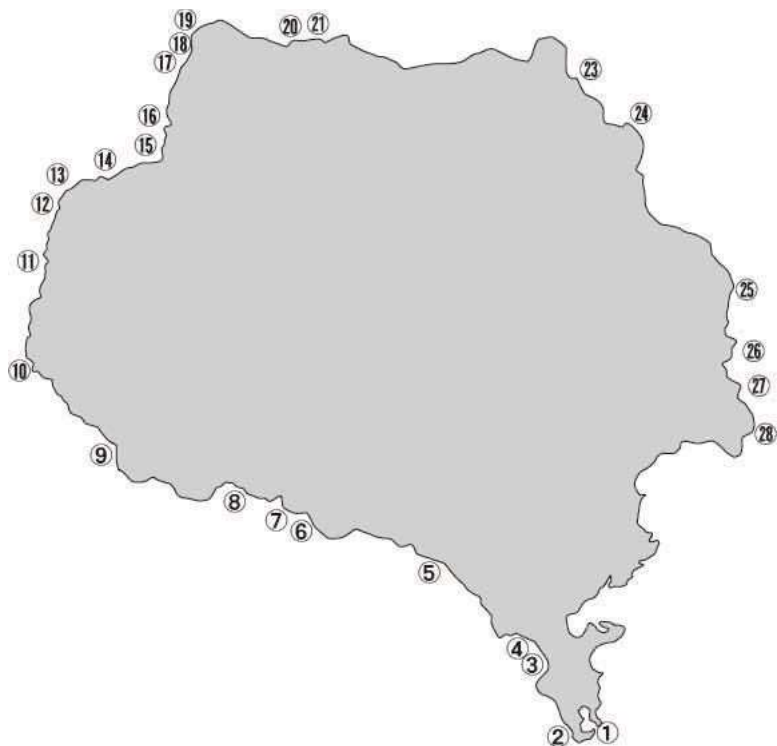
【写真2】 中川忠英旧蔵武蔵国絵図 高麗郡・秩父郡・多摩郡境付近  
（国立公文書館所蔵「日本分国図」武蔵、以下略）



【表3】国境添え書き

※国境に表記がないものは隣接する村名等を（ ）で示した。		添え書き
国境	一里塚からの距離	
① (六浦寺分)		是ヨリ相州浦老里半
② 境地蔵		此境地蔵ヨリ相州ノ内峠村迄三町半
③ (久保村)		此道相州鎌倉江出ル、相州ノ内長谷村迄国境ヨリ八町
④ (保土谷町)		江戸日本橋ヨリ相州境志名野坂マテ八里貳拾九町ノ是ヨリ相州志名野村マテ五町
⑤ (木曾町)		是ヨリ相州富士野邊村迄三町
⑥ (長房町)	老里山ヨリ国境迄拾九町	江戸麹町札辻ヨリ相州小仏峠迄三里半ノ是ヨリ相州小田原迄老里
⑦ 案内峠		是ヨリ相州和田村迄廿町
⑧ 九里坂峠	老里山ヨリ国境迄三拾町	是ヨリ甲州今利村迄老里
⑨ (小河内村)	是ヨリ国境迄貳拾町	江戸麹町札ノ辻ヨリ甲州堺小河内村迄廿三里半ノ是ヨリ甲州鴨沢村迄貳町
⑩ (水ノ本)	是ヨリ国境迄拾町	江戸日本橋ヨリ甲州境雁坂峠迄三拾六里拾三町ノ是ヨリ甲州湯ノ平関所マテ四里半
⑪ 三国峠		
⑫ (河原沢村)	是ヨリ国境マテ廿五町	志賀坂峠ヨリ上州神々原村マテ老里半
⑬ (藤倉村)	是ヨリ国境迄廿七町	小越峠ヨリ上州魚尾迄老里
⑭ (太田部)	是ヨリ国境迄廿九町	土坂峠ヨリ上州生利村マテ老里
⑮ (矢納村)		是ヨリ上州議原村迄老町ノ歩渡四拾間
⑯ (下阿久原村)		是ヨリ上州鬼石町迄老町半ノ是ヨリ上州鬼石町迄七町ノ歩渡五拾間
⑰ (本安保村)		藤岡道
⑱ (四家在家村)		是ヨリ上州小林村迄拾貳町ノ歩渡六拾間
⑲ (勅使河原)		是ヨリ上州倉金村迄貳里ノ江戸日本橋ヨリ上州境此勅使河原迄貳貳里廿五町ノ河原広五町
⑳ (中瀬村)		中瀬村切
㉑		此舟渡百三拾間舟上ル上州大館村
㉒ (新栗橋町)	是ヨリ国境迄拾九町	船渡百貳拾間舟上リ総州中田町ノ江戸日本橋ヨリ下総境此房川戸渡迄八拾四里半
㉓ (宇和田村)	是ヨリ舟渡迄七町	舟渡五拾間舟上リ総州江戸町
㉔ (幸房村)	是ヨリ国境迄五拾町	流山舟渡五拾間舟上リ総州流山村
㉕ (金町村)	是ヨリ国境迄三町	松戸舟渡六拾間舟上リ総州松戸村
㉖ (伊与新田)		市川舟渡四拾五間舟上リ総州市川
㉗ (上今井村)		上今井舟渡五拾間舟上リ下総相川町

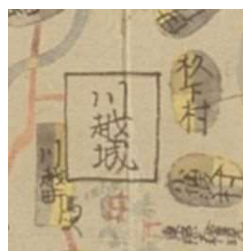
武蔵国と隣接国の国境には添え書きが記載されている。これは、作成基準の「一、国境道法老里山他国ニ有之老里山に何ほと書付候事」に基づくものである。中川忠英旧蔵図に記載される国境添え書きを【表3】に表し、その下に記載位置を図で示した。記載内容としては、国境に最



も近い国内の一里塚から国境までの距離を示し、加えて「是ヨリ〇〇村迄〇〇町」などと国境から隣国の村までの距離を記すことが多い。しかしながら、表中㉑～㉗の記載には「舟渡〇〇間舟上リ〇〇」などと村までの舟渡の記述が見られるのみで、国境から隣国の村までの距離は記さ

【表4】城・城跡

表記	記載	添書	近隣町村	比定
方形	忍城			
方形	岩付城			
方形	川越城			
丸形	平城跡	要害吉	深谷町	深谷城
丸形	鉢形古城跡	要害吉シ	寄居村	鉢形城
丸形	平城跡	要害吉シ	羽生町	羽生城
丸形	城跡		田宮町	幸手城



【写真3】城

忍城(行田市)・岩付城(さいたま市岩槻区)・川越城(川越市)の記載がある。いずれも江戸時代を通じて存在した城である。一万石以下の藩主については、陣屋支配を行った。正保図の調製時期に存在したであろう久喜藩・

【写真4】古城跡

石戸藩等の陣屋の記載については、本図においては確認できない。  
古城跡は、丸い区画の中に「城跡」と記され、うち二城跡には「平」と付され、平城を意味するものと思われる。丸形の外に「要害吉」

れていない。

この記述に加えて、江戸日本橋からの国境までの距離を示すものが四か所(④⑩⑱⑳)、江戸麹(粧)町の札辻から国境までの距離を示すものが二か所ある。前者が諸街道の起点となる日本橋からの距離を記す一方、後者については甲州道中及び青梅街道(甲州裏街道)が国境を越える位置に当たり、江戸城の西側から伸びる両街道については敢えて日本橋ではなく麹町を起点としている。国境添え書きについて、記載の統一が図られていない部分がある。

なお、⑫⑬⑭は、第4章で再度検討する上野国山中領との国境に当たると。いずれも峠を国境とする峯切である点に留意したい。

### (3) 正保武蔵国絵図の作製年代

本項では、中川忠英旧蔵図にいつ頃の武蔵国の様子が描かれているの

か、三つの記載項目に分け検討していきたい。

#### ①城・古城跡(表4)

中川忠英旧蔵武蔵国絵図には、外堀で囲まれた外郭(外曲輪)が描かれ、その範囲は黄色で着色されている。これは江戸城下(広義の江戸城)を示しており、外堀には橋が渡され、城下と城外の往来のための橋が十四か所描かれている。北東から「浅草橋」「筋違橋」「水道橋」「小石川口」「牛込口」「市ヶ谷」「四ッ谷」「赤坂口」「虎ノ口」「御成橋(幸橋)」「新橋」「木挽町橋」「紀伊国橋」と橋の名が記されており、「虎ノ口」と「御成橋」の間の橋(新橋)は無記名である。その内側の北西部に、ほぼ正方形に区画された「御城」の文字が記されている。城下の詳細な描写はない。

それ以外の城及び古城跡については、三城と四古城跡が確認できる。



と記される例が三城跡見られる。古城跡の記載は他の国絵図にも見られるものであるが、平城及び要害に言及している点が興味深い。城跡が描かれた位置から、深谷城（深谷市）・鉢形城（寄居町）・羽生城（羽生市）・幸手城（幸手市）の城跡と推定される。いずれも戦国期の城郭である。

「平」、つまり平城の注記があるのが深谷城と羽生城である。深谷城は深谷上杉氏の居城で、唐沢川や福川等に囲まれた低湿地帯に囲まれた櫛挽台地の北側縁辺部に位置した平城であった。また、羽生城は、利根川沿岸の舌状台地にあった平城で、周囲を沼地に囲まれており、上杉謙信の越山の際の拠点ともなった。一方、鉢形城は北条氏邦が整備拡充した城郭で、前の二城が平城であるのに対し、荒川と深沢川に挟まれた断崖絶壁上に築かれた天然の要害である。「古城跡 鉢形」と記されており、周辺の村形同様に男衾郡を示す色分けがなされている。この色分けについては誤写の可能性が高い。この三城跡は、いずれも河川流域の地形を活かした「要害吉」の地形であった。

幸手城は一色氏館とされ、天正十九年（一五九二）に廃城となった。鉢形城は天正十八年に、羽生城は慶長十九年（一六一四）に、深谷城は寛永十一年（一六三四）に廃城となったとされる。これらを踏まえると、本絵図は寛永十一年以降の様子を描いていることとなる。

## ② 御殿

次に注目すべきなのが、「御殿」の描写であろう。御殿の記載について、正保国絵図の基準には規定されておらず、元禄期以降の江戸幕府撰武蔵国絵図には表現されていない。しかし、中川忠英旧蔵図には、武蔵国内各所に設けられた、將軍の宿所である御殿の記載が【表5】の通り八カ所確認できる。特に將軍の鷹狩や日光社参などのために設けられた

ものと考えられる。表現としては、方形の中に「御殿」と記す。幕府によって統一基準が示されながらも、徹底されていない正保図の描写の一つといえる。

本絵図の作成年代において特に注目すべきなのは、品川御殿（東京都品川区）と小杉御殿（神奈川県川崎市）である。品川御殿は、三代將軍家光による寛永十年（一六三三）馬揃えの際に仮御殿が造営され、同十三年五月の小堀遠州による献茶の際に御殿が整備されたという。その後、元禄十五年（一七〇二）四ッ谷太宗寺付近からの出火により焼失した。小杉御殿は、二代將軍秀忠によって中原街道沿いの小杉陣屋の西隣に造営され、鷹狩後の休息所として利用された。寛永十七年に再建されているが、東海道の活性化に伴い中原街道の利用が衰退し、寛文十二年（一六五五）に御殿が廃止されたという。

これらを踏まえると、本絵図は寛永十三年から寛文十二年の様子を描いたこととなる。

## ③ 河川

最後に河川について見ていきたい。大河川を擁する武蔵国において、隣国との自然国境として河川が用いられることが多かった。し

【表5 御殿】

表記	記載	近隣町村	用途	比定
方形	御殿	田宮町	日光社参	幸手聖福寺（埼玉県幸手市）
方形	御殿	鴻巣町	鷹狩・中山道	鴻巣御殿（埼玉県鴻巣市）
方形	御殿	千住町	日光社参	小菅御殿、千住勝専寺（東京都足立区）
方形	御殿	須田村	鷹狩	青戸御殿（東京都葛飾区）
方形	御殿	滝野川村	鷹狩	御殿山（東京都北区）
方形	御殿	品川宿	品川御成	御殿山（東京都品川区）
方形	御殿	小杉村	鷹狩	小杉御殿（神奈川県川崎市）
方形	御殿	神奈川宿	東海道往復	神奈川御殿（神奈川県横浜市）

かしながら、河川の流路が変わることも間々あり、国境改めの争論が度々発生した。ここでは、肥土村（現在の児玉郡神川町大字肥土）を取り上げる。

かつて筆者が検討した寛文上野国絵図において、上野国緑野郡肥土村は、半分剥がされたような村形で表されていた。寛文郷帳では上野国に含まれ、幕府領と前橋藩領の相給であった。元禄十四年（二七〇二）、元禄国絵図調製の際の国境改めにおいて、肥土村に隣接する武蔵国賀美郡元安保村の百姓から次のような訴状が提出されている。

【史 5】（34）

（端裏書）「元禄十四〔巳〕年二月訴状御尊判之写」

一、今度御国絵図御改ニ付、去年〔辰〕ノ二月、竹村惣右衛門様御手代勇沢庄左衛門殿、武蔵・上野両国之境御吟味被成候節、(1)私共武州深谷宿江御召被成、正保二年之御国絵図奉拝見候、国境・郡境先年に相違之場所無之、此外何にて茂変地之義無之候哉ト御尋被成候、右奉拝見候御絵図少茂変地無御座候旨、証文指上ケ申候御事、一、当〔巳〕二月三日平岡十左衛門様御手代清水江左衛門殿、右両国之境紛無御座候、尤先年之御絵図に茂右之通り二御座候、此度と双方も立合申候処に御検分之先キ立仕候境目ニ笹を立申候処に右両国之境新神流川原端にて間数式百六十間之内上四百余候、先規之通り右古川無相違境ニ相極メ申候、下百五拾六間余之処、肥土村之者共是ト仰留我俣申、御公儀先年之御国絵図并ニ先規をつふし武蔵之地江大分押込之押領我俣申、何共迷惑仕無是悲御訴訟申上ケ候御事

一、(2)正保二年御国絵図御改之節、武州・上州両之境之義ハ飯河善左衛門様・雨宮権左衛門様御出被遊御検分之上、先規之通り神流川古川安保村・肥土村両村之者共立合境相極メ御絵図被遊候、其已後変地少茂無御座候処に肥土村之者共新規之我俣申押領之以之仕候、右之者共被為御召出御穿鑿之上御慈悲に先規之通り被為仰付被下候ハ、難有可奉存候、以上

武州元安保村訟訴人

大橋与惣右衛門知行処訟訴人

九郎左衛門

同 四郎右衛門

雨宮近江守知行処

三郎右衛門

九郎兵衛

雨宮三郎四郎知行処

小平治

一五右衛門

元禄十四年巳ノ二月

御奉行様

御裏書

一、如斯目安指上ケ候間、双方致誓詞論所立合無相違様ニ老枚絵図に仕立、返答書相添、来月廿五日之評定所江罷出可対決、若於不参ハ可為如曲事、但シ双方百姓并絵図師誓詞ハ元安保村名主九郎兵衛・三郎左衛門方へ相渡シ可遣之者也

巳ノ三月二日

備前

（九名連署略）

元禄十三年（一七〇〇）二月、武蔵国側の上武国境の吟味があり、元安保村の名主等が深谷宿に赴き、正保二年（一六四五）に調製が命じられた武蔵国絵図を拝見した（下線部（1））。元禄段階の状況と比較し、正保国絵図の記載に変更はなかった。正保二年の絵図改めの際には、上武国境において飯河善左衛門と雨宮権左衛門による検分が行われ、「神流川古川」を安保・肥土両村の両者が立ち会い、国境が決められたという（下線部（2））。

雨宮権左衛門及び飯河善左衛門の二名は、前述の通り、慶安元年（一六四八）十二月十日及び翌二年五月十五日に武蔵・上総両国の地図つくるよう命じられた人物である。「寛政重修諸家譜」にも、飯河方好及び雨宮正種の項に、慶安二年五月十五日に武蔵・上総両国の絵図を作製するよう幕命を受けて現地に出たと記されている。正保元年十二月に正保国絵図の調進が全国規模で命じられ、僅か五年後に武蔵・下総両国の国絵図調進が再度命じられるとは考えにくい。慶安二年の段階で両国の正保国絵図は未だ調進されておらず、方好等は幕府から武蔵・上総へ派遣された正保国絵図調製の実務担当者であった。

【史料5】に見える「正保二年御国絵図御改之節」とは、正保二年に開始された一連の正保図調製事業を示すものであって、実際に肥土・元安保両村間の国境見分が行われたのは、慶安二年五月以降と考えるべきである。なお、正保国絵図改めの際の国境裁定の場には、上野国側の人物の名が見えない。上野国絵図調製の担当者は立ち会わなかったのである

うか。もしくは、元安保村の主張であるため、武蔵国側の当事者名のみ載せたのであろうか。前者であるならば、国境を挟んだ上武両国間において、正保図調製の際には国境認識を両国間が現地で共有しなかったことを意味する可能性がある。

このように国境が決められたにも関わらず、肥土村の者が元安保村の地を押領し我が儘を申し懸け、元安保村は迷惑していると奉行所に訴えた。これに対しての肥土村からの返答書が次の史料である。

【史料6】（35）

（端裏書）「元禄十五年（午）正月 池田新兵衛御代官所上野国緑埜

郡肥土村返答書」

池田新兵衛御代官所

上州緑埜郡肥土村

返答人

名主 清左衛門 印

（十名略）

大橋与惣右衛門様御知行所

武州賀美郡本安保村

相手

名主 九郎左衛門

組頭 四郎右衛門

雨宮近江守様御知行所

同村

同

名主 三郎左衛門

組頭 九郎兵衛

雨宮三郎四郎様御知行所

同村

同

名主 小平次

## 組頭 五右衛門

一、今度御国絵図御改ニ付、去々年辰之十一月酒井雅楽頭様御内熊谷平左衛門殿・犬塚又内殿御廻状ニ付前橋江罷出、先規之御国絵図ニ替地有之候哉と御尋被成候、右拝見仕候御絵図之通り相違無御座段、証文指上ケ申候、尤上州・武州境之儀ハ上々下迄神流川境ニ而御座候御事

一、肥土村之義、往古者居村之東を神流川流、今以旧跡少々水流申候、当分流申候村方西之川者新川ニ而御座候、去巳ノ二月中平岡十左衛門様御手代清水郷右衛門殿両国境御改之節方安保村之者先規之古川と申上候式百六拾間余之所者古川ニ而無御座候、肥土村之三百八拾三石壹升八合之内、往古之畑敷ニ而居敷ニ仕立申候、古かふより生へ申候木、当分目通り三尺五・六寸廻て、雑木三百四・五拾本、其外竹御座候而、御年貢上納支配仕来り申候、此敷統ニ畑共御座候而、御水帳 載り来申儀、紛無御座候、安保村方両国之境古川と横道成義申上候、去巳ノ二月清水郷右衛門殿も先規之境之通り仕候様ニと安保村へ被仰候へ共、合点不仕候御事

一、正保二年武蔵之御国絵之節、安保村之者共と立合境相立申候と安保村方申上候段、大き成偽事ニ而御座候、安保村方境と申上候場所ハ元来肥土村分ニ而、酒井雅楽頭様御領替、下嶋甚右衛門様御代官所ニ罷成り、松平助之丞様、能勢三十郎様江相渡り、其後市川孫右衛門様、当分池田新兵衛様迄御年貢・御役義勤来り申候、右之場所安保村之者申出候通り両国境罷成り申候得者、肥土村之高三百八拾三石壹升八合之内不足仕候、尤両国境之義者安保村方五明堀と申出候古川境ニ御座候、結句安保村方当村地内之芝附へ押込開発仕候、

内々境奉願度奉存候所ニ、小村之儀力ニ及不申延引仕候御事

右之通り被 聞召上、以御慈悲先規之通り被為 仰付被下候者、難有可奉存候、以上

元禄十五年午正月

御奉行様

一方の緑野郡肥土村においても、元禄十三年十一月に前橋藩主酒井忠挙の家臣である熊谷平左衛門・犬塚又内から御廻状があつたため、前橋へ出向き「先規之御国絵図」を拝見し、変更がないことを確認している。上武国境は上流から下流まで神流川が国境であるという肥土村百姓の認識である(下線部)。問題になったのは、肥土村と元安保村の境目となつた神流川の「古川」がどこを流れていたかということであつた。肥土村側は、元安保村が主張している古川的位置は肥土村分であり、五明堀こそが古川であると主張している。元禄十五年十一月に至り、裁許絵図が作製された。その裏書には次のように記されている。

## 【史 7】(36)

元禄年中村方出入絵図御裏書之写

武蔵国賀美郡安保村与上野国緑埜郡肥土村国境論之事、元安保村之者申候者先規三境より畑之畔之堀古川跡為国境由申之、肥土村答候、古来跡用之三境より五明堀を限り川越海道江引付境相極候旨申之、為検使高室平十郎・瀧野十右衛門被差遣之検分之上、今度新川為境由申之ニ付官庫之国絵図ニ引合合点検処、新川と所指年来神流川本瀬無紛古川筋不慥上者、向後神流川中央可為国境、其上正保年中上

州絵図ニ肥土村者神流川を越武州方江書載有之条、今般肥土村者武州之地ニ相極畢、尤論所之内ニ有之両村畑持主跡々相分候上ハ、弥如前々致支配年貢収納之、為後証絵図令裏書各加印判双方下置候間、不可為再犯もの也、

元禄十五年十一月十二日

戸備前

（一）〇名連署略）

「官庫之国絵図」を取り寄せて照合したところ、上武国境とされている神流川古川が何処であるか不確かであるため、今後は現在の神流川の中央が国境となった。「官庫之国絵図」とは、幕府に献上された国絵図のことである。この場合、正保図及び寛文上野国絵図を指すと思われる。また、「正保年中上州絵図」には肥土村は神流川を越えた武蔵国側（神流川左岸）に描かれていたため、今度肥土村は武蔵国分と決められた。「正保年中」とは記されているものの、寛文国絵図が正保国絵図と同様に扱われていたという川村博忠氏の指摘を受けると、この「正保年中上州絵図」は寛文上野国絵図と考えるのが妥当であろう。「官庫之国絵図」の武蔵国分の写と考えられる中川忠英旧蔵図には、肥土村の記載はない。しかし、この採決の翌月に献上された元禄上野国絵図には肥土村は描かれておらず、元禄郷帳に記載がある。

### （3）小括

○元禄郷帳の朱書との比較により、中川忠英旧蔵図は正保図の写図と考えられる。

○正保国絵図調製に伴い、幕府から基準が提示されたものの、記載の統一は徹底されていない。

○中川忠英旧蔵図は、城・城跡、御殿等の記載から寛永十三年（一六三三）から寛文十二年（一六五五）の間の武蔵国の様子を描いたものと考えられる。

○肥土村と本安保村の間で国境であった神流川の流路が変わったために、元禄国絵図調製の際に国境の改めが行われた。これ以後、肥土村は武蔵国分となったため、正保図調製時には上野国分である。中川忠英旧蔵図には肥土村の記載はない。

○記載内容の検討からも、中川忠英旧蔵図が正保図の写図であるといえる。

### 【註】

（1）慶長国絵図・郷帳の正本は現存せず、現在、控や写本が十一ヶ国一島分確認されるのみである。これらが西日本に限られているため、慶長国絵図・郷帳の調進が西日本に限られたとされる（秋澤繁「慶長十年徳川御前帳について」（二）『海南海史学』三〇、一九九二）、同「慶長十年徳川御前帳について」（二）『海南海史学』三一、一九九三）。しかし、近年、全国で国絵図調製が実施されたとする説が提唱されている（鳴海邦匡『ものと人間の文化』<sup>187</sup> 地図、法政大学出版局、二〇二一）。また、正保国絵図の一部が明暦の大火（一六五七）で焼失したことを受けて、寛文期（一六六一—一六七三）に国絵図再提出が命じられている。しかし、当該事業の対象は国絵図が消失した地域に限ったものである（川村博忠「明暦大火被災による国絵図調製について」『歴史地理学会会報』一〇

三、一九七九)。

- (2) 川村博忠『江戸幕府撰国絵図の研究』(古今書院、一九八四)
- (3) 江戸幕府が各大名に調製を命じた国絵図に係る主な総論的研究は、前掲註2の他、次の通りである。国絵図の研究史については、杉本史子氏(二〇二二)第I部国絵図と日本図―近世の「国土」把握 第3章国絵図研究の歩みを俯瞰するに詳しい。
- ・黒田日出男「現存慶長・正保・元禄国絵図の特徴について―江戸幕府国絵図・郷帳管見(二)―」(『東京大学史料編纂所報』第一五号、一九八〇)
- ・杉本史子『領域支配の展開と近世』(山川出版社、一九九九)
- ・国絵図研究会『国絵図の世界』(柏書房、二〇〇七)
- ・小野寺淳・平井松午編『国絵図読解事典』(創元社、二〇二二)
- ・杉本史子『絵図の史学―「国土」・海洋認識と近世社会―』(名古屋大学出版会、二〇二二)
- (4) 天保国絵図武蔵国(国立公文書館所蔵、請求番号…特083・0001、冊次…0031)
- (5) 前掲註3『国絵図の世界』所収「国絵図所在一覧」
- (6) 『絵図で見る川越―空から眺める江戸時代の川越―』(川越市立博物館第四〇回企画展図録、二〇一四)
- (7) 『文書館紀要』第十九号(埼玉県立文書館、二〇〇六)
- (8) 小野寺淳「景観論と絵図研究―絵図学構築のために―」(『國學院雑誌』九八―一号、一九九七)
- (9) 前掲註3 杉本氏論文
- (10) 拙稿「寛文上野国絵図の基礎的考察―前橋市立図書館所蔵『上野国絵図』をめぐって―」(群馬県立文書館紀要『双文』、二〇一七)
- 『空からグンマを見てみよう―国絵図・城絵図・町村絵図―』(群馬県立歴史博物館第一〇二回企画展図録、二〇二〇)
- (11) 請求番号…176・0286、冊次…0013
- (12) 佐藤孝之『近世山村地域史の展開』(吉川弘文館、二〇二四)第三部近世山村地域の諸相 第一章上武国境と国絵図・郷帳
- (13) 前掲註2 川村氏論文
- (14) 「大猷院殿御実紀」(『新訂増補国史大系』四〇)正保元年十二月二日条に「二日、大目付井上筑後守政重、宮城越前守和甫に面命あり」と見える。
- (15) 国立公文書館所蔵、請求番号…149・0016
- (16) 国立公文書館所蔵、請求番号…特068・0001、冊次…0003
- (17) 「教令類纂」(国立公文書館所蔵、請求番号…265・0277、冊次…0040)書籍并国絵図之部に「国絵図被 仰付候衆中」として「一、武蔵 松平伊豆守 阿部豊後守 阿部対馬守 伊那半十郎」が見える。
- (18) 「江戸幕府日記」(国立公文書館所蔵、請求番号…163・0204、冊次…0003)慶安元年十二月十日条、同二年五月十五日条
- (19) 但し、福井保氏は、著書『江戸幕府編纂物 解説編』(雄松堂出版、一九八三)のなかで、「幕府はその四年前、正保元年に前述のとおり、諸国に命じて国ごとの地図、すなわち国絵図を調製、上呈させた。この武蔵、上総両国の地図は、それとは全く別の必要から、すなわち軍事上の目的に出たものかと考えられる。」と述べられている。
- (20) 当館所蔵、天保十年(一八三九)小室足羽写
- (21) 国文学研究資料館所蔵、請求番号…27M・2
- (22) 林巖『近世初期・南武蔵野の村落と支配―武蔵田園簿を中心に―』(一九七三)

- (23) 『伊達治家記録（仙台藩史料大成）』五 正保元年十二月十六日条（宝文堂出版、一九七四）
- (24) 国立公文書館所蔵、請求番号181・00028
- (25) 国立公文書館所蔵、請求番号257・00002
- (26) 刊本としては、「御書物方留牒」（全十六冊）と「御書物方日記」（二九冊）が『幕府書物方日記』（東京大学出版会、一九六四—一九八八、全十八冊）として刊行されている。
- (27) 福井保『紅葉山文庫』（郷学舎、一九八〇）
- (28) 「新編武蔵風土記」（国立公文書館所蔵、請求番号173・0210）
- (29) 「内閣文庫保管国絵図、郷帳一管見」（『三浦古文化』第三三号、一九八三）
- (30) 国立公文書館所蔵、請求番号176・0250
- (31) 前掲註11
- (32) 福井保「内閣文庫所蔵の国絵図について（続）」『北の丸—国立公文書館報』一〇号、一九七八
- (33) 天保国絵図武蔵国（国立公文書館所蔵、請求番号：特083—00001 冊次：0031）
- (34) 高橋（周）家文書 No.三六五、埼玉県立文書館所蔵
- (35) 埼玉県立文書館収蔵、高橋（周）家文書 No.三六四
- (36) 高橋（周）家文 No.一三九、埼玉県立文書館所蔵、一部抜粋。原本閲覧（高橋（周）家文書 No.三八六、埼玉県立文書館）は閲覧に事前申請が必要であるため、便宜上同史料の写より翻刻した。
- (35) 川村博忠氏前掲著書所収「（補論）明暦大火被災による正保国絵図の再提出に（ついで）」



【写真5】中川忠英旧蔵武蔵国絵図（国立公文書館所蔵、「日本分国図」武蔵）

【別表①】正保武蔵国絵図関係資料村高対照表

※【別表①】では、「元禄武蔵郷帳 上」(国立公文書館所蔵、請求番号176-0250、冊次0001)に収められた豊嶋・荏原・橋樹・久良岐・都筑・多摩・新座・入間・高麗・秩父・男舎・大里の12郡を掲載した。なお、掲載順は元禄武蔵郷帳に拠るものとする。【別表②】は次巻に掲載予定。  
 ※武蔵国絵図・中川忠英旧蔵「武蔵国絵図」に掲載された村名を掲載した。  
 ・村形が描写されながら村名の記載がない場合は、該当する村の欄に「 」と示した。  
 ※武蔵田園簿・『武蔵田園簿』(日本史料選書15、近藤出版社、1977)に拠る。注記等は備考に記した。  
 ※元禄郷帳・朱書は「』」で示した。特定の文字に付随する朱書は該当文字を「」内に記載し、挿入については前後の文字を「」内に記載して示した。墨書による注記は「 」で示した。  
 ・石高・村名に付された朱書の合点は、合点の欄に\*で示した。  
 ・割注は「( )」内に記載し、改行を/で示した。  
 ・欄外の朱字記載は(欄外)と注記の上、/で示した。  
 ※摩滅等で判読できない文字については、文字数がわかる場合は□で、文字数がわからない場合は「 」で示した。  
 ※武蔵国絵図及び武蔵田園簿において、元禄武蔵郷帳の朱書の記載との齟齬がある場合、斜字で示した。

豊嶋郡

武蔵国絵図(中川忠英旧蔵)										武蔵田園簿										元禄武蔵郷帳									
No.	村名	No.	石	斗	升	合	才	頭注	村名	備考	No.	合点	石	斗	升	合	才	頭注	村名	合点	村名	注記等							
1	金杉町	1	13	6	3				金杉町		1	*	42	4	9	7		芝	*	金杉町	『(芝)正ホナン』								
2	柴町	2	19	5	3				柴町		2	*	66	1	1	3			*	芝町	『正ホ作柴』								
3	飯倉村	3	149	7	6				飯倉村		3	*	94	2	7				*	飯倉町	『正ホ(町)村』								
4	阿佐布村	4	745	1	7	7			阿佐布村		4	*	11	5	1	3		阿佐布町之枝郷	*	坂下町									
											5	*	296	7	8	2	8		*	阿佐布町	『正ホ(町)村』								
											6	*	139	4	4	2				下豊沢村									
											7	*	119	9	5	6				中豊沢村									
5	渋谷村	5	688	6					渋谷村		8	*	32	3	8	1				上豊沢村									
											9	*	114	6	8	7				上渋谷村	『渋谷村(上渋谷村・中渋谷村・下渋谷村・渋谷宮益町・渋谷新町)』								
											10	*	199	5	7	3	2	4		中渋谷村									
											11	*	116	1	9	9	6			下渋谷村									
											12	*	23	3	1					渋谷宮益町	『今渋谷二字ナンシ』								
											13	*	164	8	7	8				渋谷新町	『今ナン』								
											14	*	64	6	1	4			阿佐布	坂田町									
											15	*	12	8	3					長坂町									
											16	*	7	9	8	3				南日ヶ窪町									
											17	*	9	6	7					北日ヶ窪町									
											18	*	6	9	4	8				市兵衛町									
6	一ツ木村	6	168	1	9	9			一ツ木村		19	*	59	5	4	9	3		*	一ツ木町	『二園簿并町作村、今上下作村』								
											20	*	10	9	4	3			今井	谷町									
7	今井村	7	122	7	2	7			今井村		21	*	67	6	8	7				今井村	『今(村)町』								
8	原宿村	8	262	1	6	4			原宿村		22	*	267	2	2	5				原宿村									
9	龍土村	9	24	6	4	9			龍土村		23	*	29	2	9	7				龍土町	『(町)村』								
10	鵜田村	10	93	7	5				鵜田村		24	*	97	6	5					鵜田村	『今(鵜)郷』								
11	千駄ヶ谷村	11	404	4	1	3			千駄ヶ谷村		25	*	350	9	9	4				千駄ヶ谷村	『正ホ(ヶ谷)寛』								
12	代々木村	12	200						代々木村		26	*	784	4	7	2	7			代々木村									
13	畑ヶ谷村	13	100						畑ヶ谷村		27	*	181	9	2	5				幡谷村	『正ホ(幡)畑ヶ』								
14	角管村	14	273	2	7	6			角管村		28	*	804	2	6		5	7		角管村									
15	柏木村	15	100					天沢寺領	柏木村		29	*	100							柏木村									
											30	*	179	4	1	3	8	6		大久保村之枝郷	大久保村	『○』							
											31	*	113	4	5	4	1			戸塚村之枝郷	大久保新田	『●』							
											32	*	75	1	1	3				大久保新田	馬場新田	『●』							
											33	*	4	2	2	8				大久保新田之枝郷									
16	大久保村	16	56	1	6				大久保村		34	*	653	7	5	9	3	5		*	大久保村	『○』○此印三ヶ村合字正簿「」久保村二作「」							
											35	*	93	2	1	7	1	8	大久保村之枝郷	東大久保村	『○』								
17	市ヶ谷村	17	43	7	7	6			市ヶ谷村		36	*	43	5	5	7				市ヶ谷町	『正ホ(町)村』								
18	牛込村	18	471	5	2	6	7		牛込村		37	*	384	6	4	4	3			牛込村	『今(村)町』								
19	金杉村	19	3	4	2	3			金杉村		38	*	15	1	1	3	2			金杉水道町	『正ホ(水道町)村』								
20	関口村	20	31	4	2	6			関口村		39	*	55	3	4	1	3			関口水道町	『正ホ(水道町)村』								
21	下高田村	21	173	7	5	4			下高田村		40	*	493	4	7	5				下高田村									
22	雑司ヶ谷	22	257	9	1	2			雑司ヶ谷村		41	*	308	2	9	1	2			雑司ヶ谷村									
23	下落合村	23	197	8	2	7			下落合村		42	*	140	1	8	5				下落合村									
24	上落合村	24	139	3	3	9			上落合村		43	*	214	2	3	5				上落合村									
25	葛ヶ谷村	25	77	1	7	5			葛ヶ谷村		44	*	100	7	3	3				葛ヶ谷村									
26	長崎村	26	215	5		3	8		長崎村		45	*	287	4	5	3	4			長崎村									
27	上板橋村	27	886	3	6	8			上板橋村		46	*	2,642	1	7					上板橋村									
28	下板橋村	28	611	3	6	4			下板橋村		47	*	994	3	8					下板橋村									
29	金井窪村	29	120						金井窪村		48	*	133	8	8	5				金井窪村									
30	中丸村	30	58	3	6	3			中丸村		49	*	71	1	9	5	3		池袋村之枝郷	中丸村									
31	池袋村	31	158	2	4	5			池袋村		50	*	309	1	5	1	7			池袋村									
32	果嶋村	32	130						果嶋村		51	*	126	2	1	4				果嶋村									
											52	*	146	5	1	3				堀之内新田村									
											53	*	45	5	4	9	7			駒込村枝郷									
33	駒込村	33	402	5	3	1	1		駒込村		54	*	262	8	9	5	8			駒込村									
34	小日向村	34	25	3	2	7			小日向村		55	*	110	1	3	5	5			小日向町	『正ホ(町)村』								
											56	*	20	6	4	3				改代町									
35	小石川村	35	587	5	3				小石川村		57	*	195	9	8	8	5			小石川村									
											58	*	139	2	2	9				谷中町	『○』								
36	谷中村	36	224	2	7	7			谷中村		59	*	283	2	5	8	1		古者谷中村	谷中本村	『○』○印二村合谷中村 正ホ』								
37	上野町	37	15	6	1				上野町		60	*	25	9	7					上野町									
38	下谷町	38	110	6	7	3			下谷町		61	*	13	6	8					下谷町									
39	坂本村	39	150						坂本村		62	*	222	6	8					坂本村									
40	金杉村	40	530	6					金杉村		63	*	520	1	3	7	9			金杉村									
41	龍泉寺村	41	69	9	7	8			龍泉寺村		64	*	61	5	4	7				龍泉寺村									
42	浅草門前	42	500						浅草門前町		65	*	132	2	8	3				浅草寺門前町									
43	花川戸	43	296	1	6	9			花川戸町		66	*	285	7	5	9				花川戸町									
44	山ノ宿	44	254	6	3				山ノ宿村		67	*	238	9	6	3				山宿	『(山)之(宿)村』『正山ノ宿』								
45	今戸村	45	95	4	6	2			今戸村		68	*	123	2	1	6				今戸村									
46	橋場村	46	668	5	6	8			橋場村		69	*	589	5	6	6				橋場村									
47	新鳥越	47	83	5	5	8			新鳥越町		70	*	91	2	4	5				新鳥越町									
48	山谷町	48	56	3	7	4			山谷町		71	*	53			5				山谷村	『正ホ(村)町』								
49	中村	49	112	4	8				中村		72	*	81	3	4	1			千住町組	中村町	『(千住町組)簿ナンシ』『(町)簿ナンシ』								
50	小塚原村	50	357	3	3				小塚原村		73	*	351	7	4	2				小塚原村	『(町)村』								
51	三ノ輪原宿	51	120	2					三ノ輪原宿		74	*	98	3	3	7				三ノ輪村	『三ノ輪原宿 正ホ』								
52	三河崎村	52	780	6	1	1			三河崎村		75	*	122	2	3	8	5			三ノ輪村									
53	町屋村	53	209		9	7			町屋村		76	*	227	3						町屋村									
54	下尾久村	54	269	2	4	4			下尾久村		77	*	292	9	3	7				下尾久村									
55	上尾久村	55	635																										



89	下石神井村	89	374	8	3	4				下石神井村	115	*	1,163	4	9	2				*	下石神井村	『(石神井)シャグシ』
90	上石神井村	90	457	2		5				上石神井村	116	*	1,369	5	9	9				*	上石神井村	
91	関村	91	134	3	3	8				関村	117	*	527	4		8				*	関村	

住原郡

武蔵田園簿(北馬正元校訂・近藤出版社)										元禄武蔵国郷帳(国立公文書館)													
No.	村名	No.	石	斗	升	合	勺	才	備考	No.	合点	石	斗	升	合	勺	才	頭注	合点	村名	注記等		
1	三田村	1	311	9	5	9				三田村		1	*	267	7	4	7			*	三田村		
2	上高輪町	2	185	6	8	1				上高輪町		2	*	228	8	4				*	上高輪町	「〇」	
3	下高輪町	3	190	2	3	6				下高輪町		3	*	201		7	3			*	下高輪町		
4	白金村	4	320							白金村		4	*	378	8	2	5			*	今里村		
												5	*	450	3	4	1			*	白金台町	「〇〇」	
												6	*	98	8	7				*	白金台町	「〇〇」	
												7	*	138	4	3	3		上大崎村之枝郷	*	永多六間茶屋町	「〇〇」	
5	大崎村	5	425	2	5	2				大崎村		8	*	316	6	1				*	上大崎村	「〇」上下大崎村 正同]	
												9	*	319		7				*	下大崎村	「〇」	
												10	*	50		2	3		北品川町之枝郷	*	台町	「〇〇」	
												11	*	360	7	4	3			*	北品川町		
												12	*	9	3	6	6	7	南品川町之枝郷	*	猪師町	「〇」	
6	品川宿	6	892	1	8	5				品川町		13	*	489	2	3	1	6		*	南品川町	「南北品川町」	
												14	*	94	7	7	5			*	二日ノ五日市村		
												15	*	76	9	2	2	7	南品川ノ北品川町之枝郷	*	三木村	「〇」	
7	厩木橋村	7	181		7	7				厩木橋村		16	*	230	4	4	6			*	厩木橋村		
8	上蛇窪村	8	102	3						上蛇窪村		17	*	185	5					*	上地窪村		
9	下蛇窪村	9	132		3	4				下蛇窪村		18	*	277	8	3	6			*	下地窪村		
10	小山村	10	58	6	1	7				小山村		19	*	269	3		3			*	小山村		
11	戸越村	11	223	6	3					戸越村		20	*	925	7	6	8			*	戸越村		
12	横文谷村	12	218	1	1	9				横文谷村		21	*	257	3	4	3			*	横文谷村		
13	横ヶ谷村	13	168	1	8					横ヶ谷村		22	*	67	7	4	3	8		*	横谷村	「(横)ヶ(谷)」	
14	谷山村	14	55	4	3	8				谷山村		23	*	108	9	4	3			*	谷山村		
15	目黒村	15	733	1	4					目黒村		24	*	187						*	下目黒村	「〇」	
												25	*	181						*	中目黒村	「〇」三村合目黒村」	
												26	*	1,125		7	3	4		*	上目黒村	「〇」	
												27	*	112	4		8			*	池沢村		
16	馬引村	16	352	5	4	4				馬引沢村		28	*	137	4	2	9			*	馬引沢村		
17	太子堂村	17	58	2						太子堂村		29	*	38	5					*	太子堂村		
18	三宿村	18	13	5	6					三宿村		30	*	70	3	6	8			*	三宿村		
19	池ノ尻村	19	22	4						池ノ尻村		31	*	45	4	8	5			*	池尻村		
20	若林村	20	122	5						若林村		32	*	138	8	6	6	5		*	若林村		
21	下喜多沢村	21	70	9	1					下喜田沢村		33	*	266	3	4	8			*	下北沢村	「正及隣下喜多沢村」	
22	代田村	22	75							代田村		34	*	533	7	3	8			*	代田村		
												35	*	327	7	8	7			*	松原村		
												36	*	233	3	5	4			*	赤堤村		
23	赤堤村	23	160							赤堤村		37	*	430	5	3	1			*	上北沢村	「正喜多沢村」	
24	上喜多沢村	24	92							上北沢村		38	*	305	6	8	5			*	経堂在家村	「正及隣(終)作京」	
25	京堂在家村	25	84	9	8	2				京堂在家村		39	*	469	7	9				*	世田谷町	「(世田)ヶ(谷)」	
26	世田ヶ谷村	26	416	7	9					世田谷町		40	*	143	4	1	1			*	張巻村		
27	張巻村	27	133	4	1	1				張巻村		41	*	171	1	5	4			*	用賀村		
28	用賀村	28	171	1	5	4				用賀村		42	*	354	6	6				*	瀬田村		
29	瀬田村	29	354	6	6					瀬田村		43	*	78		6	7			*	野良田村		
30	野良田村	30	78		6	7				野良田村		44	*	55	1	6				*	上野毛村		
31	上野毛村	31	55	1	6					上野毛村		45	*	184		8	6			*	下野毛村		
32	下野毛村	32	251	5	7	1				下野毛村		46	*	408						*	等々力村	「(方)々力」	
33	等々力村	33	395							等々力村		47	*	52	4	5	9			*	小山村	「正(小)尾」	
34	小山村	34	52	4	5	9				小山村		48	*	69	8	9	9			*	上沼部村		
35	下沼部村	35	63	5	2	8				上沼部村		49	*	762	6	4				*	下沼部村		
36	上沼部村	36	433	1	2	9				下沼部村		50	*	334						*	袁村		
37	袁村	37	334							袁村		51	*	407	3	7	7			*	奥沢新田村		
38	奥沢村	38	55							奥沢村		52	*	55						*	奥沢村		
39	雪ヶ谷村	39	291	1	7	3				雪ヶ谷村		53	*	544	9	2				*	雪ヶ谷村		
40	追々橋村	40	105	1	5	7				追々橋村		54	*	150	7	8	6			*	追々橋村		
41	石川村	41	16	2	7	7				石川村		55	*	74	6	5	3			*	石川村		
42	深沢村	42	132	1	7	6				深沢村		56	*	446	8	9				*	深沢村		
43	中延村	43	191	4						中延村		57	*	512	9	3	1			*	中延村		
44	馬込村	44	821	1	2	9				馬込村		58	*	906	3	8	7			*	馬込村		
45	上池上村	45	526			1				上池上村		59	*	673		8	4	3		*	池上村	「上池上村」	
46	桐ヶ谷村	46	56	7	5	5				桐ヶ谷村		60	*	360	1	1	5			*	桐ヶ谷村		
47	久河原村	47	228	9	6					久河原村		61	*	229	5	9	9	6	馬込	*	久河原村	「(馬込)隣ナシ」	
48	六郷久川原村	48	239	3					六郷	久河原村		62	*	301	7	8	4	9	5	六郷	*	久河原村	「正(河)川」
49	峯村	49	720	5	7					峯村		63	*	834	9	6	2			*	嶺村	「(嶺)峯」	
50	鵜木村	50	263	6	6	4				鵜木村		64	*	334	4	6	2			*	鵜木村		
51	下丸子村	51	242	6	6	7				下丸子村		65	*	378	1	5	4			*	下丸子村		
52	矢口村	52	343	8	2	8				矢口村		66	*	416	9	7	5			*	矢口村		
53	今泉村	53	220	9	8	3				今泉村		67	*	239	9	5	3			*	今泉村		
54	古市場村	54	79	2	4	7				古市場村		68	*	308	2	5				*	古市場村		
55	原村	55	264	6	7	7				原村		69	*	252	7		5			*	原村		
56	安方村	56	222	5	3	4				安方村		70	*	222	5	3	4			*	安方村		
57	市ノ倉村	57	163	4	1	3				市ノ倉村		71	*	162	4		7			*	市野倉村	「(野)ノ」	
58	溝沼村	58	229	9	5	9				溝沼村		72	*	229	9	4	9			*	溝沼村		
59	徳持村	59	434	3	2	2				徳持村		73	*	523	4	6	7			*	徳持村		
60	堤方村	60	445	5	2	4				堤方村		74	*	425	6		1			*	堤方村		
61	大井村	61	1,124	6	4	9				大井村		75	*	1,634	7	5				*	大井村		
62	不入斗村	62	545	2	2	6				不入斗村		76	*	575	4	9	6			*	不入斗村	「イリヤマズ」	
63	新井宿村	63	486		9					新井宿村		77	*	458						*	新井宿村		
												78	*	419	3	8	8			*	西大森村	「〇」	
64	女塚村	64	207	6	9	2				女塚村		79	*	198	4	6	8			*	女塚村		
65	小林村	65	270	7	5	2				小林村		80	*	270	7	5	2			*	小林村		
66																							

28	宮内村	28	443	3	2	2				宮内村	30	*	559	7	2	3			*	宮内村	
29	上小田中村	29	823	6	4					上小田中村	31	*	844	4	8	4			*	上小田中村	
30	小杉村	30	610	4	3	7				小杉村	32	*	704	6	3	5	1			小杉村	
31	上鞠子村	31	603	4	6	4				上鞠子村	33	*	753	6	1	7	2		*	上九子村	『正簿共(○)鞠子作』
											34	*	77	3	4	5		下沼部村之鉄橋	向川原村		
32	下小田中村	32	708	4	7	6				下小田中村	35	*	746	4	5	8			* 下小田中村		
33	今井村	33	268	3	5	3				今井村	36	*	309	2	8	6			* 今井村		
34	新庄村	34	200							新庄村	37	*	300						* 新庄村		
35	堀川村	35	164		8	5				堀川村	38	*	164		8	5			* 堀川村		
36	清沢村	36	393	2	5					清沢村	39	*	393	2	5				* 清沢村		
37	久末村	37	229	8						久末村	40	*	329	4	3				* 久末村		
38	洪口村	38	379	6	3	4				洪口村	41	*	379	6	3	5	9	6	古者洪口	子島口村	『(古者洪口)薄ナシ』『正簿洪口村』
39	蟹谷村	39	46	2						蟹谷村	42	*	61	9	9	5			* 蟹谷村		
40	恵津村	40	55	8	5					恵津村	43	*	72	9	6	4		古者恵津	明津村	『(古者恵津)薄ナシ』『正簿共恵津』	
41	井田村	41	423	3	7	7				井田村	44	*	446	6	9	7	3	7	* 井田村		
42	駒ヶ橋村	42	172	5						駒ヶ橋村	45	*	179	1	9	3	3		* 駒ヶ橋村		
43	堀島村	43	881	5	8	1				堀島村	46	*	888	8	2	5			* 堀島村		
44	駒林村	44	847	3	3	2				駒林村	47	*	857	3	1	2			* 駒林村		
45	木月村	45	715							木月村	48	*	987	5					* 木月村		
46	苅宿村	46	200							苅宿村	49	*	200						* 苅宿村		
47	市ヶ坪村	47	200							市ヶ坪村	50	*	302	4	4				* 市坪村		
48	中丸子村	48	372	7	9	3				中丸子村	51	*	384	2	1	4	9		* 中丸子村		
49	上平間村	49	402	1		6	3	5		上平間村	52	*	402	1		7			* 上平間村		
50	鹿島田村	50	500							鹿島田村	53	*	508						* 鹿島田村		
51	北賀瀬村	51	500							北賀瀬村	54	*	604	4	9	7			* 北加瀬村	『正簿(加)賀二作』	
52	矢上村	52	532	7	9	3				矢上村	55	*	581	7	7	6	5		* 矢上村		
											56	*	571	3	7				* 五反田村		
53	南賀瀬村	53	656							南賀瀬村	57	*	700						* 南加瀬村	『正簿(加)賀二作』	
54	小倉村	54	778	1	4					小倉村	58	*	778	1	4				* 小倉村		
55	江ヶ崎村	55	174	9						江ヶ崎村	59	*	174	9					* 江ヶ崎村		
56	矢向村	56	492	4	4	9				矢向村	60	*	492	4	4	9			* 矢向村		
57	塚越村	57	234	7	7	4				塚越村	61	*	234	7	7	4			* 塚越村		
58	古川村	58	79	3	3	8				古川村	62	*	79	3	3	8			* 古川村		
59	下平間村	59	157	1	9	5				下平間村	63	*	157	1	9	5			* 下平間村		
60	小向村	60	173	4	4	7				小向村	64	*	175	2	8	3			* 小向村		
61	戸出村	61	409	1	2					戸出村	65	*	409	1	2				* 戸手村	『正簿共(手)出二作』	
62	川崎久根崎町	62	168	1	3	2			川崎	久根崎町	66	*	199	7	3	3		川崎	* 久根崎町		
63	川崎新宿町	63	304	7	2	6			川崎	新宿町	67	*	373	6	6	5		川崎	* 新宿町		
64	川崎砂子町	64	415	8		2			川崎	砂子村	68	*	415	7	9	8		同断	* 砂子町		
65	川崎小土呂町	65	341	8		2			川崎	小土呂村	69	*	306	9	2	7		同断	* 小土呂町		
66	稲荷新田	66	906	2	7	8				稲荷新田	70	*	1,450	7	6	9			* 稲荷新田村	『正簿共村字ナシ』	
67	川中島村	67	162	9	3	9				川中島村	71	*	219	4	4	4			* 川中島村		
68	大師河原	68	604	6	3	6				大師河原村	72	*	734	4					* 大師河原村		
69	中島村	69	242	1		4				中島村	73	*	247	9	6	8			* 中島村		
70	堀内村	70	274	7		2				堀之内村	74	*	341	7	3				* 堀之内村		
71	大島村	71	477			2				大島村	75	*	591	2	2				* 大島村		
72	小田村	72	672	4	7	3				小田村	76	*	750	6	9	1			* 小田村		
73	下新田	73	104	3	6	4				下新田村	77	*	122	1	4	2			* 下新田村	『正下新田』	
74	渡田村	74	766	5	1	7				渡田村	78	*	797	9	7	1			* 渡田村		
75	潮田村	75	500							潮田村	79	*	500						* 潮田村		
76	菅沢村	76	195		2	9				菅沢村	80	*	210	9	3	3			* 菅沢村		
77	市場村	77	681	8		5				市場村	81	*	722	6	6	1			* 市場村		
78	鶴見村	78	603	8	6	2				鶴見村	82	*	635	1	8	2			* 鶴見村		
79	末吉村	79	852	6	8	3				末吉村	83	*	526	6	6	9			* 上末吉村	『正簿上下合末吉村』	
											84	*	363	5	1				* 下末吉村		
80	生麦村	80	560	6	6					生麦村	85	*	648	5	6	5			* 生麦村		
											86	*	471	7	7				* 東寺尾村	『○』	
											87	*	291	6	7	1			* 西寺尾村	『○』	
81	寺尾村	81	1,204	5	6	6			寺尾村	88	*	378	4	4	9				* 西寺尾村	『○』『○東国西会寺尾村 正同』	
82	子安村	82	670	9	4				子安村	89	*	243	2	3					* 西子安村	『●』『●正簿子安村』	
											90	*	490	7	7				* 東子安村	『●』	
											91	*	283	6	5				* 馬場村		
83	獅子ヶ谷村	83	244	1	5	8			獅子ヶ谷村	92	*	271	7	2	1				* 獅子ヶ谷村		
84	駒岡村	84	557	6	5				駒岡村	93	*	582			2				* 駒岡村		
85	師岡村	85	327			7			師岡村	94	*	332							* 師岡村		
86	榎村	86	328		5	2			榎村	95	*	383	6	9	6				* 榎村		
87	大曾根村	87	218	7	1	2			大曾根村	96	*	248	6	5	3				* 大曾根村		
88	太尾村	88	522	8	5	3			太尾村	97	*	541	9	6	1				* 太尾村		
89	大豆戸村	89	357	8	6	1			大豆戸村	98	*	328	8	3	3				* 大豆戸村		
90	菊名村	90	253		1	8			菊名村	99	*	272	6	2	8				* 菊名村		
91	篠原村	91	530	6	4	2			篠原村	100	*	600	1	4	1				* 篠原村		
92	岸根村	92	154	4	4	1			岸ノ根村	101	*	126	1		6				* 岸根村		
93	白旗村	93	201	8		9			白旗村	102	*	223	9	7	5				* 白旗村	『正簿(幟)旗』	
94	六角橋村	94	126			7			六角橋村	103	*	162	7	4	7				* 六角橋村		
95	神大寺村	95	86	5	6	9			神大寺村	104	*	108			5	3			* 神大寺村		
96	片倉村	96	86	9	4	2			片倉村	105	*	95	8	7	6				* 片倉村		
97	三枚橋村	97	119	2	4	3			三枚橋村	106	*	119	2	4	3				* 三枚橋村		
98	羽沢村	98	216	8		2			羽沢村	107	*	261	3	5	8				* 羽沢村		
99	鳥山村	99	460	9	3	3			鳥山村	108	*	525	4	5	4				* 鳥山村		
100	小机村	100	937	4	6	9			小机村	109	*	900	1	4	8				* 小机村		
101	菅田村	101	724	5	7	6			菅田村上下	110	*	703	1	5	8	5			* 下菅田村	『正菅田村 薄菅田村上下』	
102	神奈川宿	102	628			1	3		神奈川宿	111	*	842	1	5	8				* 神奈川宿		
103	青木町	103	728	6		1			青木町	112	*	904			4				* 青木町		
104	衆生村	104	131	1	8	9			衆生村	113	*	135	8						* 衆生村	『正簿(芝)衆』	
105	和田村	105	98	8	5	4			和田村	114	*	111		6	6				* 和田村		
106	坂本村	106	69	9	1	3			坂本村	115	*	80	2	9	7				* 坂本村		
107	仏向村	107	265	7	8				仏向村	116	*	432	3	2	9				* 仏向村	『フツカフ』	
108	下里川村	108	335	8	8	2			下里川村	117	*	394	9	1	8				* 下里川村		
109	帷子町	109	603	2	5	4			帷子町	118	*	697	4	2	2				* 帷子町	『(神)ウ(戸)』	
110	神戸町	110	219	7	8				神戸町	119	*	299	3	8					* 神戸町		
111	保土谷町	111	409	9		3			保土谷村	120	*	510	7	3	8				* 保土ヶ谷町	『正簿谷町』	
										121	*	593	5	4	6				* 田間町	『正簿久良岐ニアリ』	
112	箕輪村	112	343	9	8	3			箕輪村	122	*	363	1	2	3	3	3			* 箕輪村	
113	南河原村	113	478	8	6	9			南川原村	123	*	644	5	3	7				* 南河原村		
										124	*	40	6	8	7				* 新宿村		

**都筑郡**

**多摩郡**

武蔵田園簿										元禄武蔵國御帳													
No.	村名	No.	石	斗	升	合	勺	才	頭注	村名	備考	No.	金点	石	斗	升	合	勺	才	頭注	金点	村名	注記等
1	江古田村	1	140							江古田村		1	*	147	5	7	2				*	江古田村	『図(七)巻(石)』
												2	*	112	2	5	9				*	江古田新田村	
2	片山村	2	37			5				片山村		3	*	46							*	片山村	
3	上高田村	3	51	7	8	7				上高田村		4	*	77							*	上高田村	
4	新井村	4	51	2	1	4				新井村		5	*	33	5	9	3				*	新井村	
5	上沼袋村	5	303	7	2	5				上沼袋村		6	*	230	5	8					*	上沼袋村	
												7	*	118	5	5	9			上沼袋村之枝郷		大場村	
6	下沼袋村	6	150		9	4				下沼袋村		8	*	118	5	9	2				*	下沼袋村	
												9	*	27	5	8	7			下沼袋村之枝郷		新橋村	
7	上麓ノ宮村	7	142	1	9	9	7			上麓ノ宮村		10	*	142	5	2	5				*	上麓宮村	『正木(簗)ノ(宮)』
8	(下麓ノ宮村)	8	138	5	3	4				下麓ノ宮村		11	*	543	2						*	下麓宮村	『(簗)ノ(宮)』
9	井草村	9	125	7	1	5				井草村	(計算アワズ)	12	*	321	9	8		3	3		*	井草村	
10	天沼村	10	106	7	5	5				天沼村		13	*	119							*	天沼村	
11	安佐ヶ谷村	11	170	3	8	2				安佐ヶ谷村		14	*	187							*	阿佐ヶ谷村	『正木(綱)安』
12	馬橋村	12	125	2	3	4				馬橋村		15	*	358	2		2				*	馬橋村	
13	高門寺村	13	221	5	9	3				高門寺村		16	*	797	2	6	8	6	7		*	高門寺村	
14	中野村	14	831	1	3					中野村		17	*	2,023	7	7	5				*	中野村	
15	本郷村	15	129	2	8	6				本郷		18	*	256	3	6	5	7	1		*	本郷村	『正木村字ナシ』
16	堀之内村	16	114	6	9	2				堀之内村		19	*	608	7	1	9				*	堀之内村	『正(堀)之内字ナシ』
17	鎌色村	17	188		8	7				鎌色村	(2斗脱)	20	*	343	9	4	1				*	鎌色村	
18	和田村	18	208		8	5	3			和田村		21	*	238	8	5	3				*	和田村	
19	和泉村	19	200	3	9	8				和泉村		22	*	196		1					*	和泉村	
20	永福寺村	20	151			3				永福寺村		23	*	156	3	2					*	永福寺村	
21	田篠村	21	223							田篠村		24	*	300	3	8	5				*	田篠村	(欄外)『図田端村/内田端新田アリ』
22	成宗村	22	208	6						成宗村		25	*	254	7	1					*	成宗村	(欄外)『図成宗村/内成宗新田アリ』
23	上萩窪村	23	62	7	6	1	3			上萩窪村	2(8)石	26	*	264	7	9	2	4	2		*	上萩久保村	(欄外)『上萩久保村/内上萩久保新田アリ』『正木(久保)窪、下同シ』
24	下萩窪村	24	52	4	2					下萩窪村		27	*	52	4	2					*	下萩久保村	(『正木(久保)窪』)
25	久ヶ山村	25	125	2	5					久ヶ山村		28	*	459	2	7	8				*	久ヶ山村	
												29	*	80	7	5	8				*	高井戸新田	
												30	*	472	6	2	5				*	大宮前新田	
												31	*	87	3	8	9				*	松庵新田	
												32	*	309	2	6					*	蓮雀新田	
												33	*	645	5	7	3				*	蓮雀前新田	
												34	*	210	2	3					*	西袋村	
												35	*	238	4	8	9				*	間重新田	



134	〔〕田村	134	183	3	5					ㄥ田村	170	*	368	9	7	3					*	ㄥ田村	
135	貝取村	135	89							貝取村	171	*	89								*	貝取村	
											172	*	272	8	8	3						上和田村	
											173	*	99	1	3							中和田村	
136	蓮光寺村	136	221		6					蓮光寺村	174	*	160	4	6	7	2				*	蓮光寺村	
											175	*	61	1	3	9	2	8			*	下川原村	
137	坂浜村	137	246		8	6				坂浜村	176	*	246	8	6						*	坂浜村	
138	真光寺村	138	169							真光寺村	177	*	169	7	4	1	8				*	真光寺村	
139	広瀬村	139	94	6	2	5				広瀬村	178	*	77	4	1	2	3				*	広瀬村	
140	大蔵村	140	389	1						大蔵村	179	*	571				5				*	大蔵村	
141	能谷村	141	262	7	6	8				能谷村	180	*	257	5	4	7					*	能ヶ谷村	『正簿(ヶ)ナシ』
142	三輪村	142	355	2						三輪村	181	*	604	2	5	4					*	三輪村	
143	岡上村	143	263		5					岡上村	182	*	323	1	4	3					*	岡上村	
144	金井村	144	238	3		9				金井村	183	*	316	2	2	3					*	金井村	
145	木倉村	145	77	9	1	4				木倉村												(欄外)『元図金井村ノ内木倉村アリ 無高』	
146	大谷村	146	132	1	3	1				大谷村	184	*	132	1	3	1					*	大谷村	
147	高ヶ坂村	147	156		7					高ヶ坂村	185	*	189	8	9						*	高ヶ坂村	
148	成瀬村	148	710	4	6	6				成瀬村	186	*	717	5	6						*	成瀬村	
149	小川村	149	138	4						小川村	187	*	372	9	1	9	9				*	小川村	『簿(川)河』
150	雀間村	150	183	3	1	5				鶴間村	188	*	205	4	1						*	鶴間村	
151	金森村	151	116	9	6	1				金森村	189	*	504	2	4	7	2	1			*	金森村	
152	原町田村	152	61	9	3	9				原町田村	190	*	252	1	1	9	6				*	原町田村	
153	森村	153	322	5	6					森村	191	*	211	2	6						*	森野村	『正簿共野字ナシ』
154	本町田村	154	316	5						本町田村	192	*	326	9	6	3					*	本町田村	
155	野津田村	155	326	8	5					野津田村	193	*	831	1	5	8					*	野津田村	『正田字ナシ』
156	山崎村	156	214			8				山崎村	194	*	434	2	9	9					*	山崎村	
157	木曽町	157	309	1	8	9				木曽町	195	*	779	2	5	8					*	木曽町	
											196	*	211	9	7	7					*	榎岸村	
158	上園師村	158	139	9	8	5				上園師村	197	*	314	7	1	1					*	上園師村	
159	下園師村	159	139	9	7					下園師村	198	*	272		3	2					*	下園師村	
160	上山田村	160	168	8	3					上山田村	199	*	810	2	9	7					*	上山田村	
161	下山田村	161	150	6	9					下山田村	200	*	604	5		3					*	下山田村	
162	小野路町	162	212	3	1	5				小野路町	201	*	587	8	4	1					*	小野路村	『正簿(村)町』
163	別所村	163	40		5					別所村	202	*	52	6	2						*	別所村	
164	松木村	164	151	4	3	5				松木村	203	*	277		2	1					*	松木村	
165	落合村	165	141	6						落合村	204	*	422	1	6	1					*	落合村	
166	大塚村	166	155	9		5				大塚村	205	*	411	5	1	1					*	大塚村	
167	和田村	167	430	5	4	6				和田村	206	*	68	6	5	5					*	和田村	
168	茂草村	168	300							茂草村	207	*	300								*	茂草村	
169	三沢村	169	155	1	4					三沢村	208	*	274		9	8					*	三沢村	
170	下田村	170	144	8	7	3				下田村	209	*	164	4	4	1					*	下田村	
171	斎藤寺村	171	94	7	1	7				万蔵寺村	210	*	107	6	7	3					*	万蔵寺村	
172	宮村	172	91	2		5				宮村	211	*	100	3	7	1	7				*	宮村	
173	高畑村	173	123	5	6	5				高畑村	212	*	167	5	3						*	高畑村	『正簿(畑)畑』
174	程久保村	174	21		3	5				程久保村	213	*	50	2	3	5					*	程久保村	
175	上田村	175	90	1		7				上三田村	214	*	116	8	4	6					*	上田村	
176	平村	176	191	9	9					平村	215	*	278	5	4	3					*	平村	
177	川辺堀内村	177	112	2	5	5				川部堀之内村	216	*	179	8		4					*	川辺堀内村	『簿(辺)部』
178	豊田村	178	341	5	3					豊田村	217	*	341	5	3		8				*	豊田村	
179	平山村	179	406	8		8				平山村	218	*	381	3	2		8				*	平山村	
180	長沼村	180	118	5		5				長沼村	219	*	145	4	5	4					*	長沼村	
181	中野村	181	106	4		5				中野村	220	*	382		6	4					*	中野村	
182	堀内村	182	202	8	7					堀之内村	221	*	144	5		8					*	堀内村	『簿(堀)之(内)字アリ』
183	越野村	183	142	9	8	5				越ノ村	222	*	193	5	9	8					*	越野村	『正簿(野)ノ』
184	打越村	184	222							打越村	223	*	297	8	5	3					*	打越村	
185	中山村	185	70		5	5				中山村	224	*	203	3		1					*	中山村	
186	流水村	186	119	1		5				流水村	225	*	421	7		8					*	流水村	『正作(鍾)遺 簿作(鍾)志』
187	上柳木村	187	192	9		4				上柳木村	226	*	412	8		9					*	上柳木村	
188	下柳木村	188	194	5	9	5				下柳木村	227	*	409	1	4	2					*	下柳木村	
189	大沢村	189	*	6	4	5				大沢村	228	*	382	8	7						*	大沢村	
190	小山村	190	402	6	5					小山村	229	*	746	8	4	5					*	小山村	
											230	*	230		5						*	上相原村	『〇』
											231	*	268	2	4						*	中相原村	『〇』
191	相原村	191	463	9						相原村	232	*	325			3					*	下相原村	『〇』『〇正簿上中下合相原村』
192	寺田村	192	113	2	4					寺田村	233	*	156	1	4	4					*	寺田村	
193	臨村	193	192	8	9	5				臨村	234	*	482	3	3	5					*	臨村	
194	上長房町	194	116	2						上長房村	235	*	107	7	3	6					*	野木野宿	『〔上長房〕ナシ』『正上長房町 簿同シ』
											236	*	63		7						*	小仏宿	『町共(欄外)元図小仏宿之内峠茶屋』
195	八王子村	195	350	4	2					八王子村	237	*	458	2	4						*	本八王子村	『慈観寺村共』『正簿共八王子村』
196	上長房村	196	224	1	3	5				下長房村	238	*	374	8	1	9					*	下長房村	
197	上們田村	197	500	6	3	5				上們田村	239	*	1,012	5	9	3					*	上們田村	(欄外)『元図上們田村ノ内案内村アリ 無高』
198	下們田村	198	274	5	1					下們田村	240	*	472	1		5					*	下們田村	
199	大船村	199	53	7		5				大船村	241	*	115	4	4	3					*	大船村	『正木(舟)松』
200	宇津貫村	200	100	8	9					宇津貫村	242	*	194	5	6	9					*	宇津貫村	
201	片倉村	201	281	9	2					片倉村	243	*	355			2					*	片倉村	
202	小引村	202	295	9	1	5				小引村	244	*	516	6	1	4					*	小引村	
											245	*	213	5	3	1					*	本郷村	
203	散田村	203	376	2	7					散田村	246	*	596	4	1	6					*	散田村	
											247	*	15								*	山田村	
204	河村	204	85	6	8					川村	248	*	100	6	8						*	川村	『正(川)河』
205	寺方村	205	152	5						寺方村	249	*	127	5	3	7					*	寺方村	
206	上忍方村	206	432	1	8					上忍方村	250	*	529	5	4	5					*	上忍方村	
207	下忍方村	207	443	8	5	5				下忍方村	251	*	610	8							*	下忍方村	(欄外)『元図下忍方村ノ内松嶽アリ』
208	川口村	208	853	2	3					河口村	252	*	1,275	4	1						*	川口村	『簿(川)河』
209	山入村	209	220	3		5				山入村	253	*	302	7	2	9					*	山入村	
210	小津村	210	67	3	2	5				小津村	254	*	68	9	6	9					*	小津村	
211	式分方村	211	165	4	2	5				式分方村	255	*	302	5	1	4					*	式分方村	
212																							

入間郡										元禄武蔵国郷帳													
武蔵国総図(中川忠英旧蔵)										武蔵国郷帳													
郡	村名	No.	石	斗	升	合	勺	寸	頭注	村名	備考	No.	合点	石	斗	升	合	勺	寸	頭注	合点	村名	注記等
1	宗岡村	1	564	7						宗岡村		1	*	543	7						*	宗岡村	『薄新田共』
2	鎌畑新田	2	50							鎌畑新田		2	*	234	4	6					*	鎌畑新田	
3	大久保村	3	587	2	3					大久保村		3	*	550	4	7					*	大久保村	
4	下鎌畑村	4	735	6	4	7				下鎌畑村	難(南)	4	*	748	4	7					*	上鎌畑村	
5	上鎌畑村	5	735	6	4	3				上鎌畑村		5	*	1,055	4						*	下鎌畑村	
6	駒林村	6	200							駒林村		6	*	208	6						*	駒林村	
7	勝瀬村	7	400							勝瀬村		7	*	375							*	勝瀬村	
8	鶴間村	8	775							鶴間村		8	*	775							*	鶴馬村	『薄馬許間』
9	水子村	9	852	9	2					水子村		9	*	113	6	2	2				*	針ヶ谷村	
10	畠間村	10	100							畠間村		10	*	1,152	9	1	9				*	水子村	
11	竹間沢村	11	197							竹間沢村		11	*	95							*	畠間村	
												12	*	263	5	4					*	竹間沢村	
												13	*	140	8	1					*	藤久保村	
12	大井町	12	350	8	6					大井町		14	*	180	2	8					*	南永井村	
												15	*	350	8	5					*	大井町	
												16	*	171	8	8					*	北永井村	
												17	*	1,067	6	8	6				*	上富村	
												18	*	862	5	2	6				*	中富村	
												19	*	883	7	1					*	下富村	
												20	*	48	5	1					*	亀ヶ谷村	
13	坂ノ下村	13	103							坂ノ下村		21	*	126	6	6	2				*	坂下村	『(坂)ノ(下)正木』
14	坂本郷	14	210							坂本郷		22	*	62							*	城村	『正木城本郷』
												23	*	124							*	本郷村	
												24	*	197	9	2	2				*	大袋新田	『マヌタ』
15	安松村	15	575							安松村		25	*	74	4	5					*	上安松村	『正木上下合一村』
												26	*	315	4	7	3				*	下安松村	
16	北秋津村	16	123	3	3	3				北秋津村		27	*	206	2	7	4				*	北秋津村	



108	寺井村佐沼村	108	562	5	5					寺井伊佐沼村	157		78	4	6						*	寺井伊佐沼村	
109	宿勤村	109	413	5	3	6				宿勤村	158		372	3	1						*	宿勤村	
110	志兼村	110	207	7	5	3				志兼村	159		205	6							*	志兼村	
111	府川村	111	513	5	4	8				府川村	160		333	7	5						*	府川村	
112	石田村	112	467	8	1	9				石田村	161		446	1	1						*	石田村	
113	菅間村	113	626	6	8	8				菅間村	162		755	3	4						*	菅間村	
											163		187	5	9							向小久保村	
114	網代村	114	324	3	1	4				網代村	164		280	1	3						*	網代村	
											165		163									高畑村	
115	福田村	115	332	1		8				福田村	166		356	4	8						*	福田村	
116	紺屋村	116	619	3	4	9				紺屋村	167		494	7	3						*	紺屋村	
117	中小坂村	117	160							中小坂村	168		94	3	9						*	中小坂村	
118	横沼村	118	808							横沼村	169		727	4	6	2					*	横沼村	
119	小佐村	119	729							小沼村	170		723	4	3						*	小沼村	
120	青木村	120	230							青木村	171		372	9	6	8					*	青木村	
121	塚越村	121	437	3	6	4				塚越村	172		437	3	6	4					*	塚越村	
122	赤尾村	122	926	9	7	2				赤尾村	173		925	4	3	4					*	赤尾村	
123	石井村	123	1,267	7	8	5				石井村	174		1,302	9	3	2					*	石井村	
124	島田村	124	640							島田村	175		640								*	島田村	
125	吉田村	125	640							吉田村	176		144		3						*	上吉田村	『正簿無上字』
126	片柳村	126	700							片柳村	177		699	9	9	7					*	片柳村	
127	真ヶ谷村	127	30	5	7					真ヶ谷村	178		30	5	7						*	真ヶ谷村	
128	和田村	128	155	7	7	4				和田村	179		263	5	6	9					*	和田村	
129	沢木村	129	374	9	2					沢木村	180		380	6	4	7					*	沢木村	
130	金田村	130	138	8	2	6				金田村	181		140								*	金田村	
131	戸口村	131	325	9	9	1				戸口村	182		325	9	9	1					*	戸口村	
132	中里村	132	65							中里村	183		65								*	中里村	
133	塚崎村	133	329	1	1	8				塚崎村	184		311	1							*	塚崎村	
134	坂戸村	134	676	3	6	3				坂戸村	185		700	3	6	3					*	坂戸村	
135	栗生田村	135	182	2						栗生田村	186		182	2							*	栗生田村	
136	浅羽村	136	558	7	1	1				浅羽村	187		447	9	8	7					*	上浅羽村	『正簿上下合浅羽村』
											188		104	9	6	6					*	下浅羽村	
137	厚川村	137	216		3	7				厚川村	189		224	7	7	5					*	厚川村	
138	大名家村	138	81	5	3	4				大名家村	190		81	5	3	4					*	大名家村	
139	森戸村	139	469	3	7	8				森戸村	191		537	7	8						*	森戸村	
140	菅方村	140	197	3	3	4				菅方村	192		197	3	3	4					*	菅方村	
141	町屋村	141	50	7	3					町屋村													
142	四日市場村	142	407	7						四日市場村	193		355								*	四日市場村	
143	下田波目村	143	360	4	8					下田波目村	194		370	4	8	9					*	下田波目村	
																							『下田波目村之内 岩口村 無高』
144	下河原村	144	232	6	2	9				下河原村	195		239	6	2	9					*	下川原村	『正木(川)河』
145	欠ノ上村	145	12	3	3					欠ノ上村	196		12	5	8	5					*	欠ノ上村	『ホ(之)ノ』
146	成願寺	146	60							成願寺村	197		60	6	1						*	成願寺村	
147	大塚村	147	181	5	5					大塚村	198		196	9	6	6	2				*	大塚村	
148	峰村	148	85	9	7					峰村	199		89	2	7						*	峯村	
											200		347	6	9						*	市場村	
149	善能寺	149	100	7	3	2				善能寺村	201		130		3						*	善能寺村	
																							『元園及正木 牛久保村 善能寺村ノ内ニアリ、薄高共拾九石玖斗九升八合』
150	堀込村	150	161	9	4	5				堀込村	202		160								*	堀込村	
151	新堀村	151	400							新堀村	203		399	9	3	9					*	新堀村	『元園無(399石)無三字』
152	今西村	152	29	2	9	8				今西村													
153	今西村	153	100	2	9					今西村	204		100	3							*	今西村	
154	北浅羽村	154	148	8	2					北浅羽村	205		148	8	2						*	北浅羽村	
155	竹ノ内村	155	69	8	5					竹之内村	206		69	8	5						*	竹之内村	
156	小山村	156	56	4	3					小山村	207		58	3	3	8					*	小山村	
157	長岡村	157	124	7	4					長岡村	208		124	7	4						*	長岡村	
158	香林村	158	83							香林村	209		83								*	香林村	『正木著作吾思非』
159	小用村	159	200							小用村	210		219	5							*	小用村	
160	西戸村	160	197	5	5					西戸村	211		247	5	5						*	西戸村	
161	和田村	161	174	2	5	5				和田村	212		155	7	7	4					*	和田村	
162	如意村	162	102	1	4					如意村	213		239	7	1	3					*	如意村	
163	箕和田村	163	61	7	1					箕和田村	214		149	7	1	8					*	箕輪田村	
164	川角村	164	889	4	7	3				川角村	215		560	1	4	7					*	川角村	
																							『元園 川角村之内 王林寺村 無高』
165	大類村	165	253							大類村	216		253								*	大類村	
166	大久保村	166	201	3	3	2				大久保村	217		192	8	2	3					*	大久保村	
167	喜賀村	167	329	6	8					喜賀村	218		326	2	5	5					*	喜賀村	
168	宿屋村	168	22	8	5	5				宿屋村	219		31	7	5	2					*	宿屋村	
169	権現堂村	169	27	6	6	5				権現堂村	220		33	1	5	2					*	権現堂村	
170	大谷木村	170	150	3	4					大谷木村	221		166	4	8	4					*	大谷木村	
171	阿諏訪村	171	157	6	2					阿諏訪村	222		196	2	1						*	阿諏訪村	
172	毛呂町	172	1,162	7	6					毛呂村	223		270	3	9	4					*	毛呂本郷	『〇』『〇印七村合正木毛呂町』
											224		229	1	4						*	小田谷村	『毛呂』『〇』
											225		161	9	5	4					*	堀込村	『同断(毛呂)』『〇』
											226		206	1	7	8					*	永瀬村	『同断(毛呂)』『〇』
											227		189	4	3	5					*	馬場村	『同断(毛呂)』『〇』
											228		224		5	5					*	前久保村	『同断(毛呂)』『〇』
											229		125	1	1	5					*	平山村	『同断(毛呂)』『〇』
173	滝ノ入村	173	205	5	6	5				滝之入村	230		237	6	7	4					*	滝野入村	『正木野作之』
174	上野村	174	485	5						上野村	231		546	6	2						*	上野村	
175	今市町	175	182	6	9					今市町	232		342	6	2	5					*	今市村	『正木村作町』
176	黒岩村	176	13	7	5	5				黒岩村	233		26	5	9						*	黒岩村	
177	成瀬村	177	208	8	1					成瀬村	234		280	3	7	9					*	成瀬村	
178	大谷村	178	280	8	8					大谷村	235		407	7	3	3					*	大谷村	
179	鹿ノ下村	179	205	5	9					鹿ノ下村	236		260	2	7						*	鹿下村	『正ホノ』
180	小杉村	180	195	9	7	5				小杉村	237		233	7	2	7					*	小杉村	
181	大満村	181	128	8	8					大満村	238		232	2							*	大満村	
182	堂山村	182	72	8	8	5				堂山村	239		99	2	1	7					*	堂山村	
183	上谷戸村	183	130	2	6	5				上谷戸村	240		222	4	7	5					*	上谷村	



秋父郡										武蔵国園簿										元禄武蔵国御帳									
No.	村名	No.	石	斗	升	合	勺	才	頭注	村名	備考	No.	合点	石	斗	升	合	勺	才	頭注	合点	村名	注記等						
1	(下名栗村)		242			3	5			下名栗村		1		301	7	7	2				*	下名栗村							
2	上名栗村	2	279	8	7					上名栗村		2		420	2	6	3				*	上名栗村							
												3		302	8	2	4					南村	「上我野」						
												4		235	6	4	9					坂石村	「同断(上我野)」						
												5		298	3	2	8					坂本村	「同断(上我野)」						
												6		364	2	6	2					南川村	「同(上我野)」						
												7		243	1	9	8					北川村	「同(上我野)」						
3	上我野村	3	1,247	5	3	5				上我野村		8		96	7	1	8					高山村	「上我野」「以上六ヶ村合正保上我野細二作、ホハ村二作」						
4	桐平村	4	46	7	8					桐平村		9		53	9	7	1				*	桐平村							
5	大野村	5	130	1	1					大野村		10		232	2	5	1				*	大野村							
																							『大野村ノ内 七重村』						
6	安戸町	6	322	1	4	5				安戸町		11		403	7	1	1				*	安戸村	『正清町二道』						
7	奥沢村	7	86	1	6					奥沢村		12		43	7	4	6				*	奥沢村							
8	御堂村	8	286	8	2	5				御堂村		13		357	6	2	4				*	御堂村							
9	白石村	9	22	5	5					白石村		14		193	8	4	9				*	藤谷村							
10	藤谷村	10	79	9						藤谷村		15		95	4	8					*	白石村							
11	坂本村	11	131		6	5				坂本村		16		294	4	5	8				*	坂本村							
12	大内沢村	12	112	3	4					大内沢村		17		204	6	2					*	大内沢村							
13	風布村	13	54	5						風布村		18		92	5	9					*	風布村							
14	金尾村	14	89	5	8	5				金尾村		19		127	6						*	金尾村							
15	矢野瀬村	15	202	1	1					矢野瀬村		20		182	5	9	9				*	矢野瀬村							
16	下ノ江	16	353	7	6	5				下ノ江	江(郷)	21		440	9	5					*	野上下郷	「告者下郷」「正保如此」 「野上下郷内 海上」 「同(野上下郷内) 小坂」						
17	岩田村	17	293	2	9	5				岩田村		22		209	6	2					*	岩田村							
18	中ノ村	18	216	2	2	5				中ノ村		23		195	3	1					*	中野上村	「古物中野村 正永中之村二作」						
19	本野上村	19	294	9	1					木野上村		24		389	1		1				*	木野上村							
20	井戸村	20	166	2		5				井戸村		25		207	8	7					*	井戸村							
21	藤谷瀬村	21	292	3	2	5				藤谷瀬村		26		317	3	9	5				*	藤谷瀬村							
22	下田野村	22	163	1	8	5				下田野村		27		204	9	2					*	下田野村							
23	三沢村	23	368	2	6					三沢村		28		425		8	5				*	三沢村							
24	菅野村	24	541	4	3					菅野村		29		614	2	4					*	菅野村							
25	金崎村	25	174	6	9					金崎村		30		213	6	3	4				*	金崎村	『金崎村ノ内 国神』						
26	大瀬村	26	129	5	3	5				大瀬村		31		145	4	5	2				*	大瀬村							
27	日野沢村	27	325	9	2	5				日野沢村		32		309	6	3					*	日野沢村							
																							『日野沢村ノ内 重木』 「同(日野沢村ノ内) 紫岡」						
												33		212	9								上日野沢村	『上日野沢村之内 小龍』 「同(上日野沢村之内) 立沢」 「正(巻)夜」 「野巻村ノ内 藤架」					
28	野伏村	28	88	5	7					野巻村		34		153	8						*	野巻村							
29	小柱村	29	129	3	1					小柱村		35		171	7	9	5				*	小柱村							
30	堀切村	30	46	9	3	5				堀切村		36		68	5	8	5				*	堀切村							
31	黒谷村	31	255		3					黒谷村		37		378	5	6					*	黒谷村							
32	柄谷村	32	138	8						柄谷村		38		247	9	4					*	椋谷村	『正木(椋)瀬二作、正(谷)屋二作』						
33	定峯村	33	82	2						定峯村		39		144		9	5				*	定峯村							
34	山田村	34	429	6	3					山田村		40		674	3	7					*	山田村							
35	横瀬村	35	1,154		5					横瀬村		41		1,342	5	7	5				*	横瀬村							
36	大宮町	36	2,264	1	5	5				大宮町		42		2,299	3	8	5				*	大宮町							
37	大野原村	37	187	9	4	5				大野原村		43		417	3	1					*	大野原村							
38	寺尾村	38	462		9	5				寺尾村		44		753	2	3					*	寺尾村							
39	品沢村	39	149	9	4	5				品沢村		45		91	6	5					*	品沢村							
40	井古田村	40	127	2	7					井古田村		46		139	7	1	5				*	伊古田村	『正木(伊)井』						
41	太田村	41	420	7	3					太田村		47		591	5	4	5				*	太田村							
																							『太田村ノ内 久保田』						
42	久長村	42	357	3	2					久長村		48		284	6	6	5						久長村	『久長村ノ内 日野部沢』					
43	阿熊村	43	186		6	5				阿熊村		49		235	2	1	5				*	阿熊村	『元園阿熊村ノ内 白岩』						
44	上吉田村	44	785	1	8	5				上吉田村		50		777	5	4	2				*	上吉田村	『元園二上吉田村ノ内 明ヶ平』 「同(元園二上吉田村ノ内) 女形」 「同(元園二上吉田村ノ内) 茅」 「同(元園二上吉田村ノ内) 小川」						

武蔵国縮宮(中川志英旧蔵)										元禄武蔵国郷帳														
No.	村名	No.	石	斗	升	合	勺	才	頭注	村名	備考	No.	合点	石	斗	升	合	勺	才	頭注	村名	備考	元禄武蔵国郷帳	
1	小八塚村	1	298	1	2	4				小八林村		1		299	1	2	4				*	小八林村		『図(9石)八』
2	玉作村	2	611	5	8	8				玉作村		2		61	5	8	8				*	玉作村		『古者箕輪甲山』『ナシ』『〇』
3	箕輪甲山村	3	834	5	7	3				箕輪甲山		3		484	5	7	3				*	箕輪村		『古者箕輪甲山』『ナシ』『〇』正〇此印二村合箕輪甲山村、薄無村字』
4	相上村	4	290	9	6	6				相上村		4		350							*	相上村		
5	久下村	5	124	5						下久下村		5		124	5						*	下久下村		
6	久下村	6	910	7	1	2				久下村		6		940	7	1	2				*	久下村		
7	新田村	7	503	8	7	2				新田村		8		503	8	7	2				*	津田新田村		『古者新田村』『ナシ』『正薄新田村』
8	津田村	8	1,023	2	3	7				津田村		9		1,023	2	3	7				*	津田村		
9	向谷村	9	236	7	3	1				向谷村		10		236	7	3	1				*	向谷村		
10	高本村	10	327	6	7	1				高本村		11		327	6	7	1				*	高本村		
11	沼黒村	11	389	3	7	1				沼黒村		12		389	3	7	1				*	沼黒村		
12	吉所敷村	12	186	5	5	6				吉所敷村		13		186	5	5	6				*	吉所敷村		
13	佐谷村	13	1,955	5	9	2				佐谷田村		14		1,955	5	9	2				*	佐谷田村		
14	熊谷町	14	2,024	5	4	2				熊谷町		15		2,054	5	4	2				*	熊谷町		
15	手島村	15	372	1	3					手島村		16		372	1	3					*	手島村		
16	江川下久下村	16	25	5						江川下久下村		17		25	5						*	江川下久下村		
17	小泉村	17	688	9	7					小泉村		18		688	5	5					*	小泉村		
18	屈戸下久下村	18	217	9	7					屈戸下久下村		19		217	9	7					*	屈戸村		『古者屈戸下久下村』『ナシ』『正薄屈戸下久下村』
19	中曽根村	19	709	1	6	6				中曽根村		20		709	1	6	6				*	中曽根村		
20	和田村	20	99	8	1					和田村		21		99	8	1					*	和田村		
21	下恩田村	21	352	8						下恩田村		22		352	8						*	下恩田村		
22	中恩田村	22	299	5	7					中恩田村		23		299	5	7					*	中恩田村		
23	上恩田村	23	156	5	3					上恩田村		24		156	5	3					*	上恩田村		
24	村岡村	24	559	9	7	9				村岡村		25		559	9	7	9				*	村岡村		
25	万吉村	25	690	4	1	8				万吉村	「マゲチ」	26		690	4	1	8				*	万吉村		「マゲチ」
26	御正新田	26	272	5	7	6				御正新田		27		272	5	7	6				*	御正村		『古者御正新田村』『ナシ』『正薄御正新田』
27	成沢村	27	230	6	6					成沢村		28		230	6	6					*	成沢村		
28	「文字不知」	28	406	7	3	1				樋口村		29		281	7	3	1				*	樋口村		
												30		125							*	青ノ原村		「樋口村枝郷」
29	樺切村	29	615	1	6					樺切村		31		672	8	3					*	樺切村		
30	三ツ木村	30	508	8	5					三ツ木村		32		520	8	5					*	三ツ木村		
31	河原明戸新田	31	40	6	5	9				川原明戸新田		33		40	6	5	9				*	河原明戸村		『正薄川、△正薄河原明戸新田』
32	河原明戸	32	137	8	1	4				川原明戸村		34		135	1	1	2				*	河原明戸村		『薄川』
33	大麻生村	33	546	9	8					大麻生村		35		546	8	2	5				*	大麻生村		
34	小島村	34	480	8	6	3	3	3		小島村		36		480	5	8	4	3			*	小島村		
35	広瀬村	35	503	1	3	6	6	7		広瀬村		37		513	1	3	6	6	7		*	広瀬村		
36	石原村	36	1,261	3	3	3				石原村		38		1,261	3	3	3				*	石原村		
37	大村	37	600							代村		39		591	9	1					*	代村		
38	原島村	38	563	5	3					原島村	5斗(8)	40		591	9	2					*	原島村		
39	肥塚村	39	692	6	8	5				肥塚村		41		692	6	8	5				*	肥塚村		
												42		0							*	原新田村		
												43		0							*	平塚新田村		